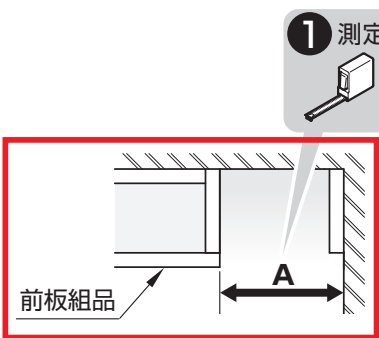
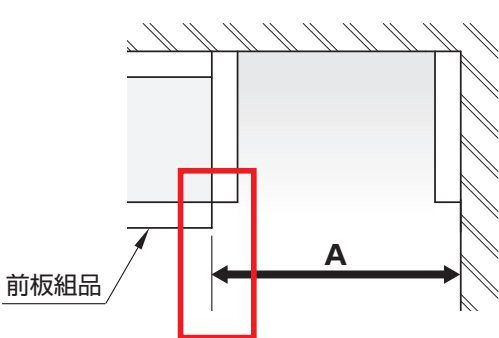
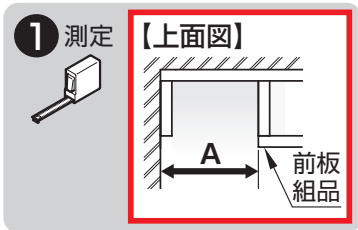
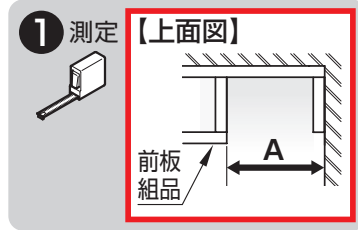
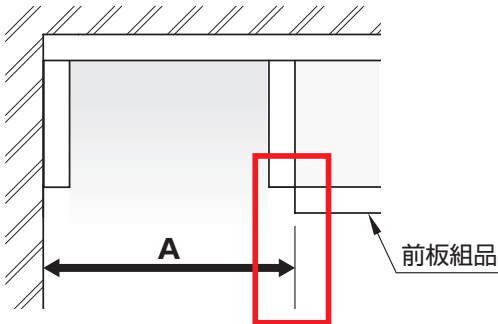
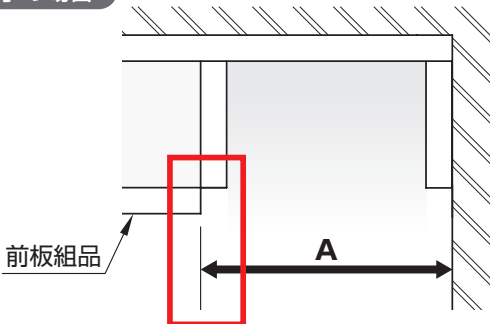


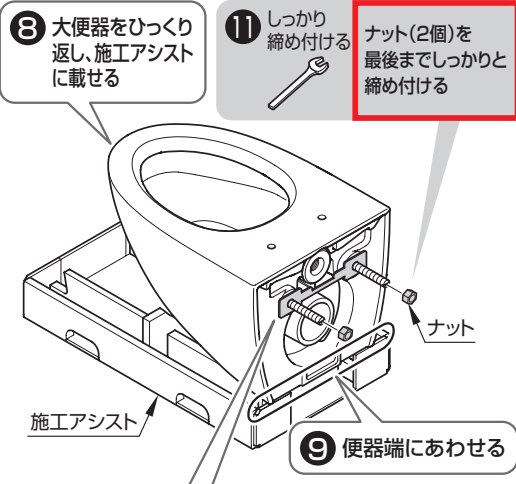
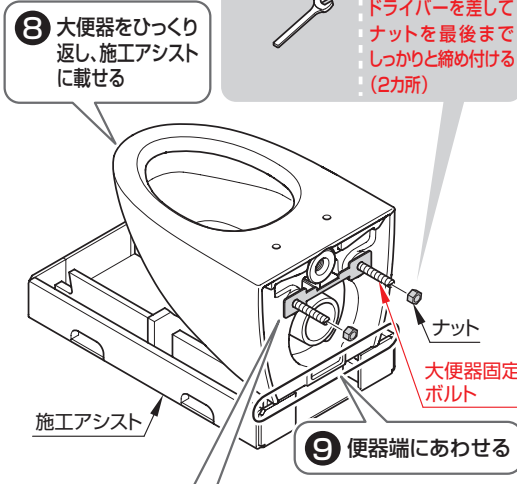
施工説明書 正誤表

レストパル/レストパルF/FD/RJ

工事店様へ

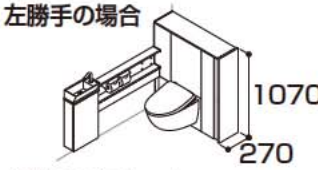
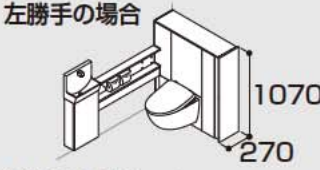
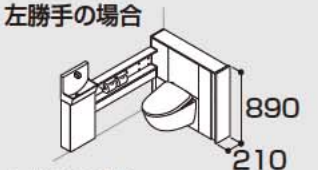
「レストパル/レストパルF/FD/RJ」において、下記の訂正がございます。
関係者の皆様にはご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。
お手数をお掛けいたしますが、訂正内容をご確認のうえ施工くださいますようお願い申し上げます。

施工説明書 品番	ページ	訂正内容	
		誤	正
GH00051 GH00052 GH00053 GH00054 GH00055 GH00056 GH00058	65 76 46 58 47 51 49		
GH00052 GH00054 GH00056	78 60 53	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 

施工説明書 品番	ページ	訂正内容	
		誤	正
GH00051 GH00052 GH00057	48 61 29	⑧ 大便器をひっくり返し、施工アシストに載せる ⑪ しっかり締め付ける ナット(2個)を最後までしっかりと締め付ける  ナット 施工アシスト ⑨ 便器端にあわせる ⑩ 取付材の切り欠きを上にし取り付ける ※上下を間違えると施工ができません。	⑧ 大便器をひっくり返し、施工アシストに載せる ⑪ しっかり締め付ける 大便器固定ボルトのすりわり部にマイナスドライバーを差し、ナットを最後までしっかりと締め付ける(2カ所)  ナット 施工アシスト ⑨ 便器端にあわせる ⑩ 取付材の切り欠きを上にし取り付ける ※上下を間違えると施工ができません。

手順編

※商品タイプの確認▶P.2

まるごと収納タイプ		スリム収納タイプ	
ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ
左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 

1. エンドパネル (オプション)	▶ 30
2. 側板組品 (手洗器設置側)	▶ 32
3. 排水部材	▶ 34
4. 大便器スタンド	▶ 36
5. 止水栓	▶ 38
6. 排水ソケット	▶ 46
7. コアキャビネット	▶ 52
8. やわらかフロアライト	▶ 58
9. 大便器	▶ 60
10. ウォシュレット	▶ 63
11. タンク接続管	▶ 65
12. セットタンク	▶ 67
13. 前板 (上)	▶ 72
14. 棚板	▶ 74
15. 扉	▶ 76
16. 固定扉	▶ 78
17. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	▶ 80
18. 手洗器・水栓金具	▶ 95
19. 給排水部材 (手洗器)	▶ 103
20. 試運転・確認	▶ 110
21. 天板	▶ 119
22. 仕上げ	▶ 123

【ご注意】

誤記訂正箇所があります。
詳細は冒頭に添付しております正誤表を
ご確認ください。

・対象ページ： P 61 (分割のGH00052- 2)
P 76 (分割のGH00052- 2)
P 78 (分割のGH00052- 2)

マーク説明 (例)



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



シールテープを巻いて
ください。



脱脂用アルコールで
脱脂してください。



塩ビ用接着剤を塗布して
ください。
(例:塗布の場合)

1. エンドパネル (オプション) エンドパネルなしの場合は P.32 2. 側板組品(手洗器設置側) へ

使用部材



その他包装

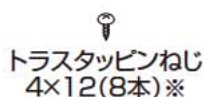
エンドパネル



施工部材セット(エンドパネル用)



ねじセット



※残り2本は5.止水栓で使用

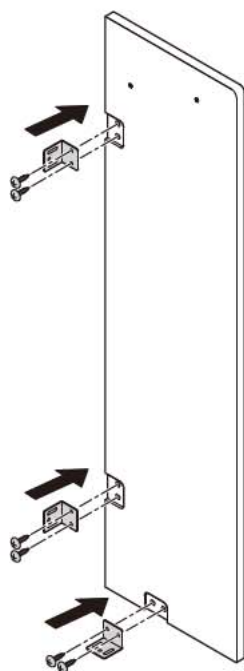
MEMO

1 アングル材の取り付け

① 手締めで



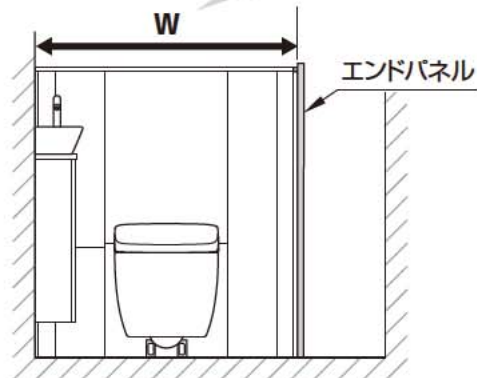
トラスタッピンねじ
4×12(6本)



3 エンドパネルの取り付け

【完成イメージ】

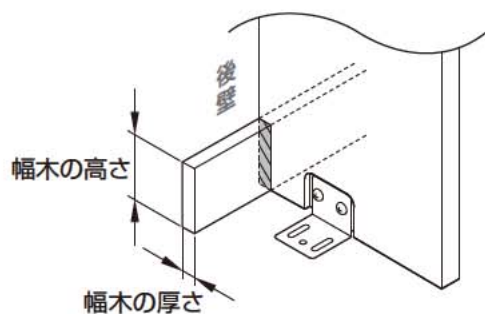
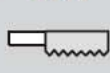
① 測定



2 エンドパネルのカット

幅木がある場合

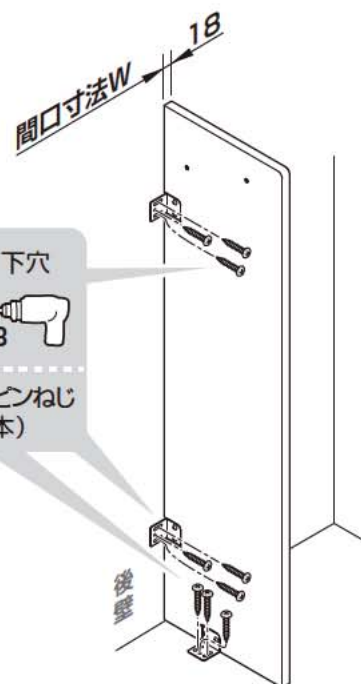
① 測定 → けがき → カット



② けがき → 下穴



③ トラスタッピンねじ 4×30(9本)



2

2. 側板組品（手洗器設置側）

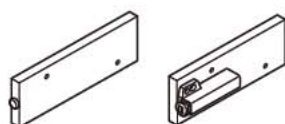
使用部材



コアキャビネット

コアキャビネット

側板組品（手洗器設置側）



側板組品
(1セット)



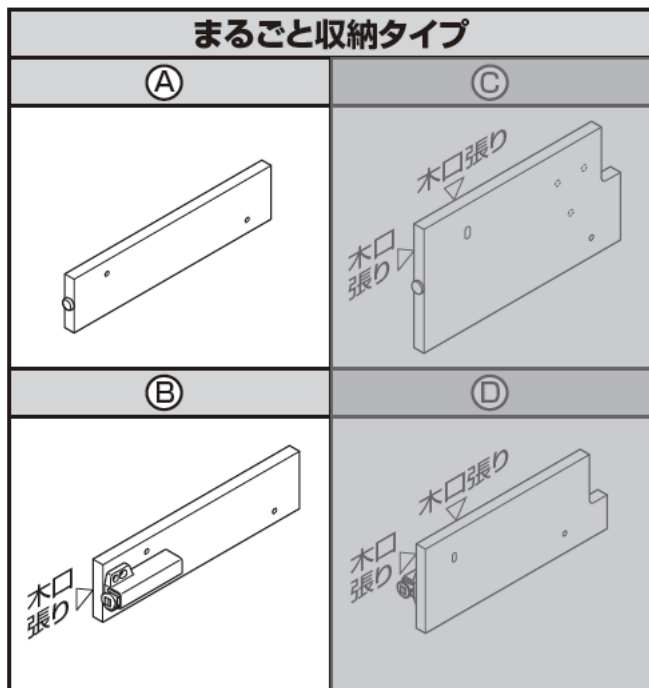
トラス
タッピンねじ
4×40(6本)

※残り2本は7.コアキャビネットで使用

MEMO

側板組品の種類

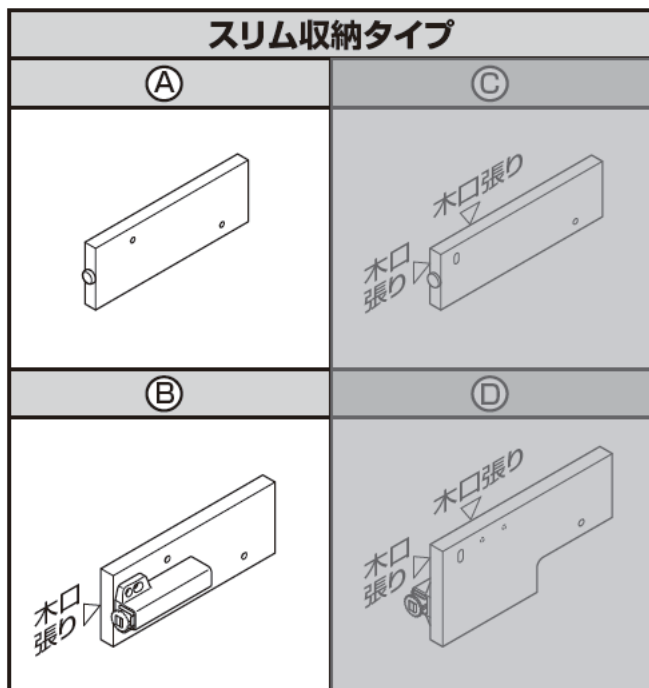
まるごと収納タイプ



③④はP.56「7.コアキャビネット」

⑥ 側板組品の取り付けで使用

スリム収納タイプ

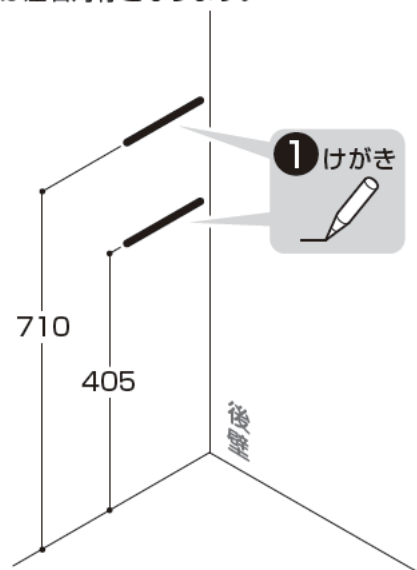


③④はP.57「7.コアキャビネット」

⑥ 側板組品の取り付けで使用

1 側板組品のけがき

※右勝手の場合は左右対称となります。



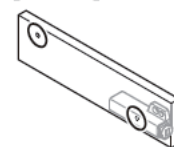
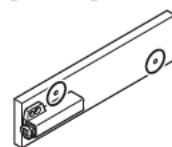
2 側板組品の取り付け

左右勝手によりねじ取付位置が異なります

①②ともにLR共通のためねじ取付角度が左右反対になります

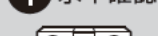
【左勝手】

【右勝手】



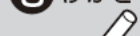
※図は②の場合

1 水平確認



壁に突き当てる

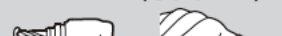
3 けがき → 下穴※



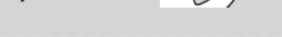
φ3

※【壁裏補強なしの場合】

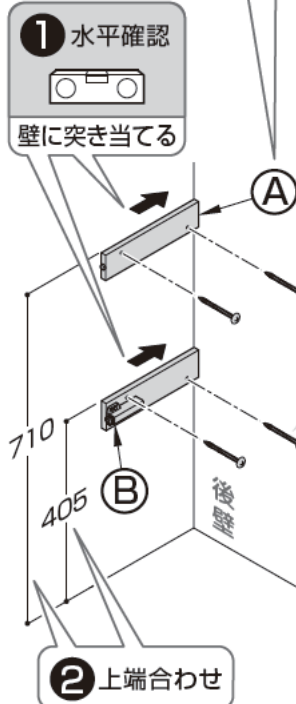
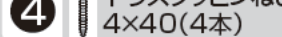
下穴 → ボードアンカー (オプション)



φ10



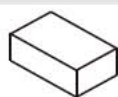
4 トラストピンねじ 4×40(4本)



2 上端合わせ

3. 排水部材

使用部材



詰め合わせ箱

排水ソケットセット

【まるごと収納タイプ】

【スリム収納タイプ】

接続管組品



(1個)※



アダプター(VU75用)
(1個)

※図はまるごと収納タイプ

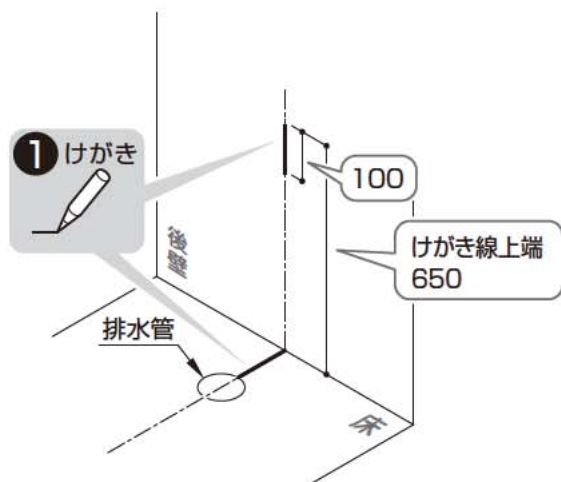


トラスタッピンねじ
4×50(2本)

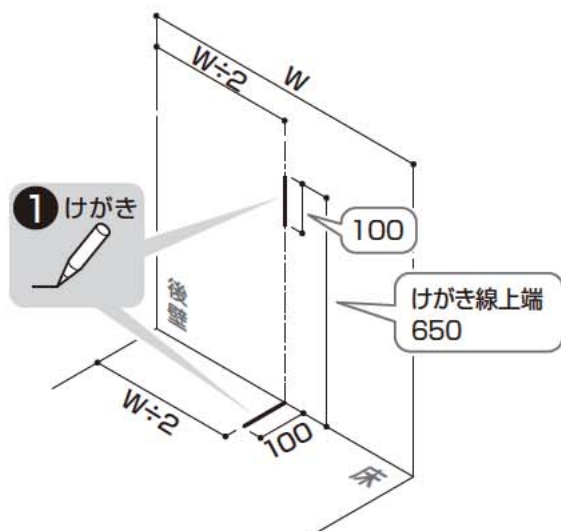
MEMO

1 排水中心位置のけがき

床排水



壁排水



2 排水ソケットの取り付け

床排水 排水心200以上の場合は4.大便器スタンドへ

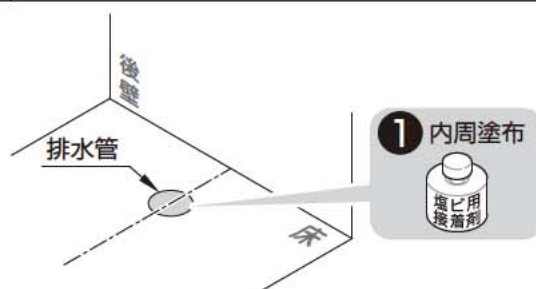
⚠ 注意



必ず守る

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方の正しい位置に塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。

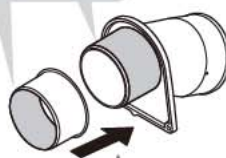
排水ソケットと排水管のはめあいがゆるい場合は、必ず「高粘度タイプの接着剤」(HH05062)を使用する
一般タイプの接着剤では臭気・水漏れのおそれがあります。



まると収納タイプ

VU75管の場合

2-1 塗布



2-2 アダプタ取り付け

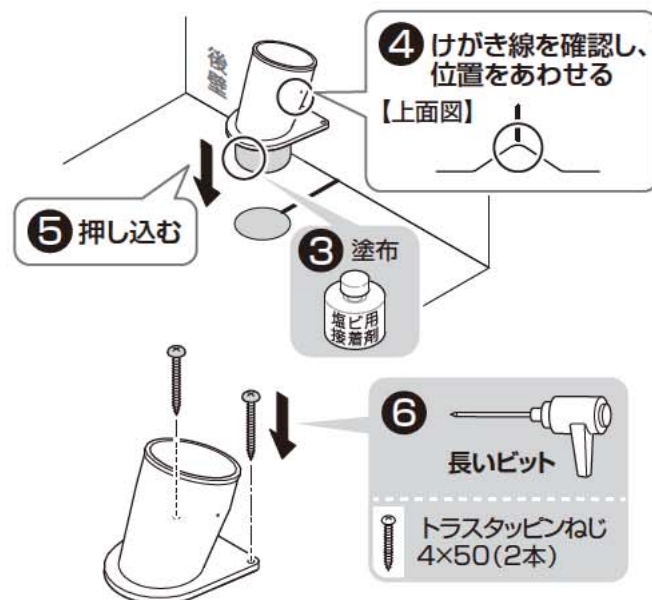
スリム収納タイプ

VU75管の場合

2-1 塗布



2-2 アダプタ取り付け

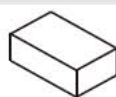


3

排水部材

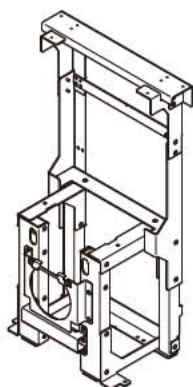
4. 大便器スタンド

使用部材



大便器スタンド

スタンド
(1台)



なべタッピンねじ
6×50(16本)
(スタンド・壁・床固定用)

※予備のねじが4本
余ります

フレームセット



フレーム
(2個)



トラスタッピンねじ
5×14(6本)

1 大便器スタンドの仮設置

① 仮固定

トラスタッピンねじ
5×14(各3本)

【上面図】

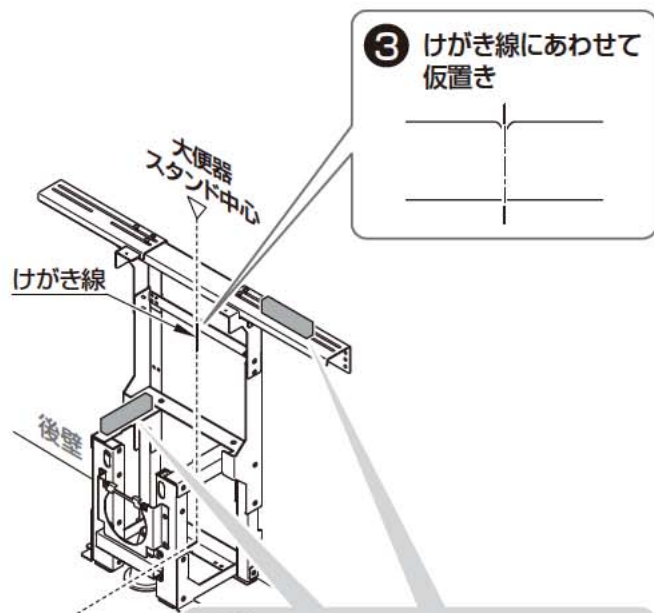


フレーム

②

フレーム

② 中央に寄せる

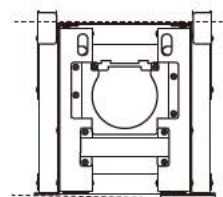


③ けがき線にあわせて
仮置き

④ 水平確認



大便器スタンドの下にすき間がある場合



⑤ スパースーを入れる
(現場手配)

2 大便器スタンドの固定

⚠ 注意

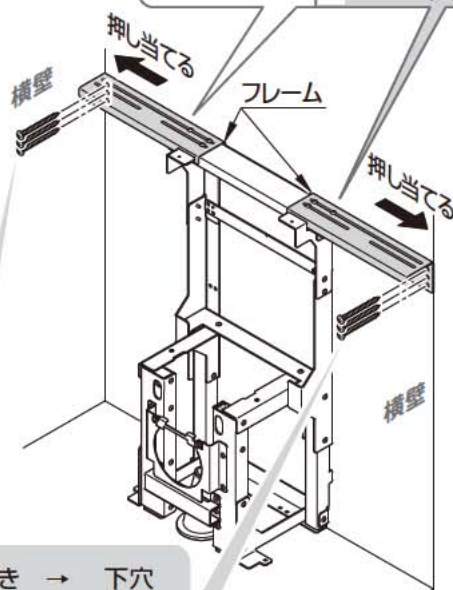


必ず守る

横壁と間口調整材にすき間があかないようにする
商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。

① 本固定

トラスタッピンねじ
5×14(各3本)



② けがき → 下穴



φ4.5

③



なべタッピンねじ
6×50(各3本)

④ けがき → 下穴



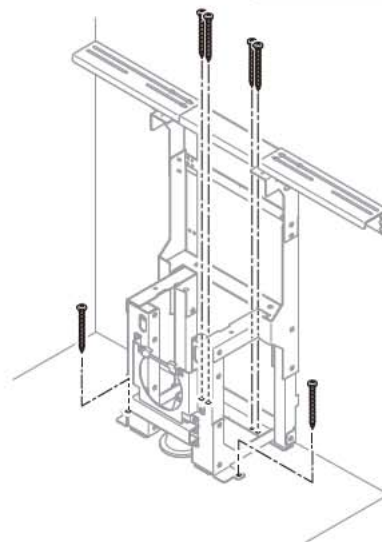
φ4.5

⑤



なべタッピンねじ
6×50(6本)

※予備のねじが4本残ります

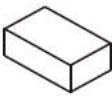


4

大便器スタンド

5. 止水栓

使用部材

 詰め合わせ箱

止水栓

【給水新設用】

壁給水



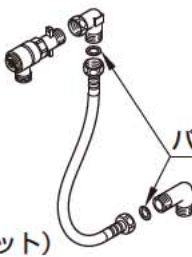
(1セット)

床給水



(1セット)

【既存給水流用】 ※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



(1セット)

バッキン



固定板
(1個)

なべ小ねじ
M4×8(2本)



座金付
タッピンねじ
4.5×38(2本)

付属材セット (キャビネット)



カバー(配管)
(1個)

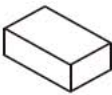
排水管固定材セット



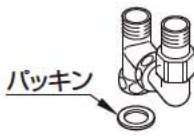
ホースクランプ
(3個)



トラスタッピンねじ
4×40(3本)

 詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

分岐金具

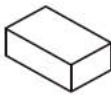


(1個)

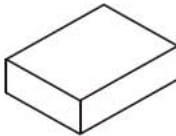
フレキホース



(1本)

 その他包装

ウォシュレット



(1箱)

MEMO

給水新設の場合	▶P.39
既存給水流用 一般地/ 流動方式の場合	▶P.42
既存給水流用 水抜方式の場合	▶P.44

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

⚠ 注意

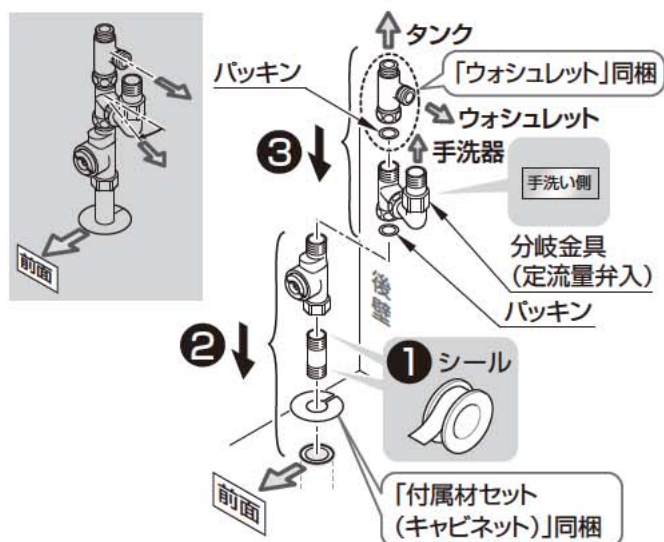


必ず守る

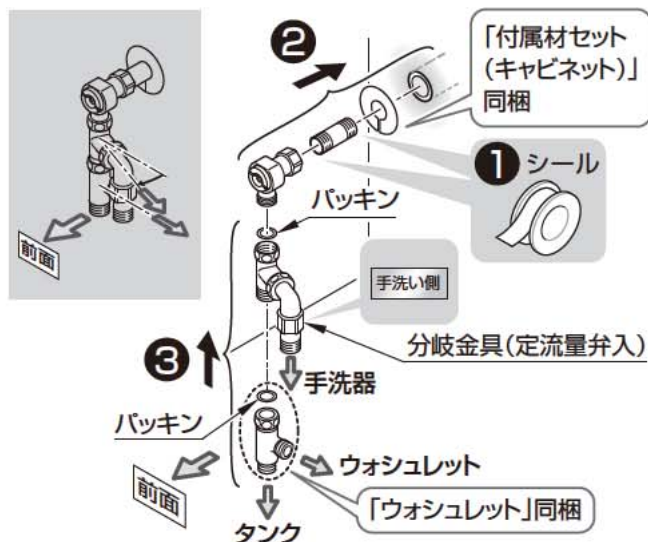
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

※取付位置は左右勝手とも正面向かって左となります

床給水

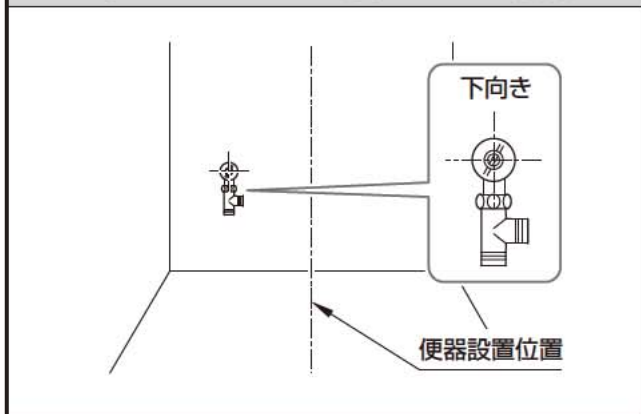


壁給水

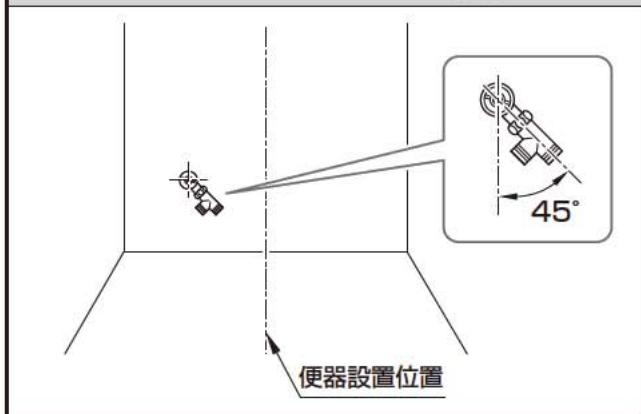


4 排水方向によって止水栓向きを調整する

床排水/ 壁排水 後ろ抜きの場合

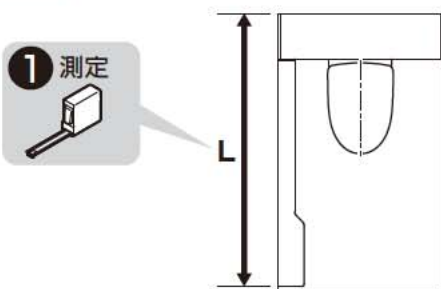


壁排水 左右抜きの場合

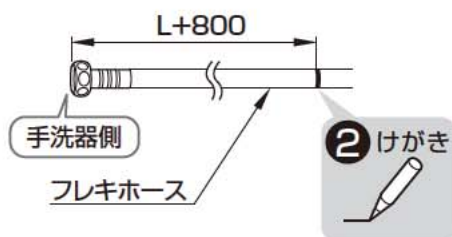


2 ホースクランプ固定位置のけがき

1 測定

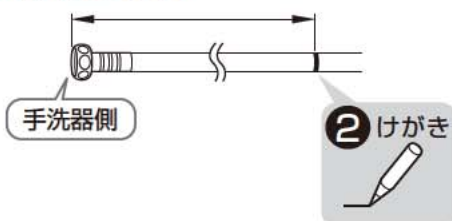


自動水栓の場合



ハンドル式水栓の場合

L+690(ベッセルタイプ(丸形)/ベッセルタイプ(角形)・右勝手)
 L+470(ベッセルタイプ(角形)・左勝手)
 L-290(ハイバックタイプ)

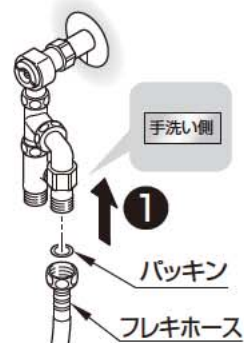


3 フレキホースの取り付け

床給水



壁給水



2 ホースクランプで固定する



トラスタッピンねじ 4×40(3本)

「付属材セット (キャビネット)」同梱

※フレキホースの取り回しは 4 参照

4 フレキホースの取り回し

警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

全タイプ共通 注意事項・マーク説明

- : ホース固定位置
(**2** ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定)
- : ホース固定位置
(任意の箇所を固定)

※下図は間口750mmの場合です。
間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。

水抜方式の場合

※ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。
(水が抜けず、凍結する場合があります)

床給水

	左勝手	右勝手
一般地 流動方式		
水抜方式		

壁給水

	左勝手	右勝手
一般地		

既存給水流用 一般地 / 流動方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

! 注意



必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓 (フィルター付き) を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

1 けがき → 下穴※

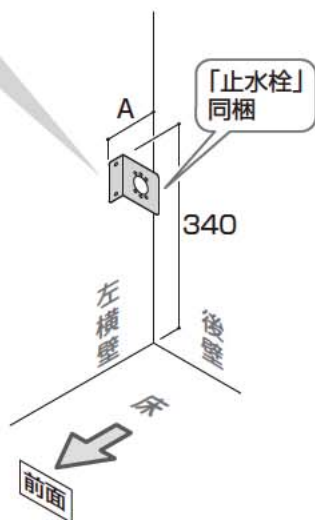


※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー (オプション)

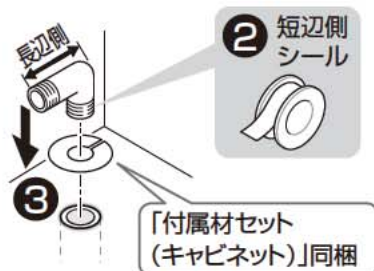


排水方向		A
床排水		
壁排水	後ろ抜き	85
	右抜き	
	左抜き	170

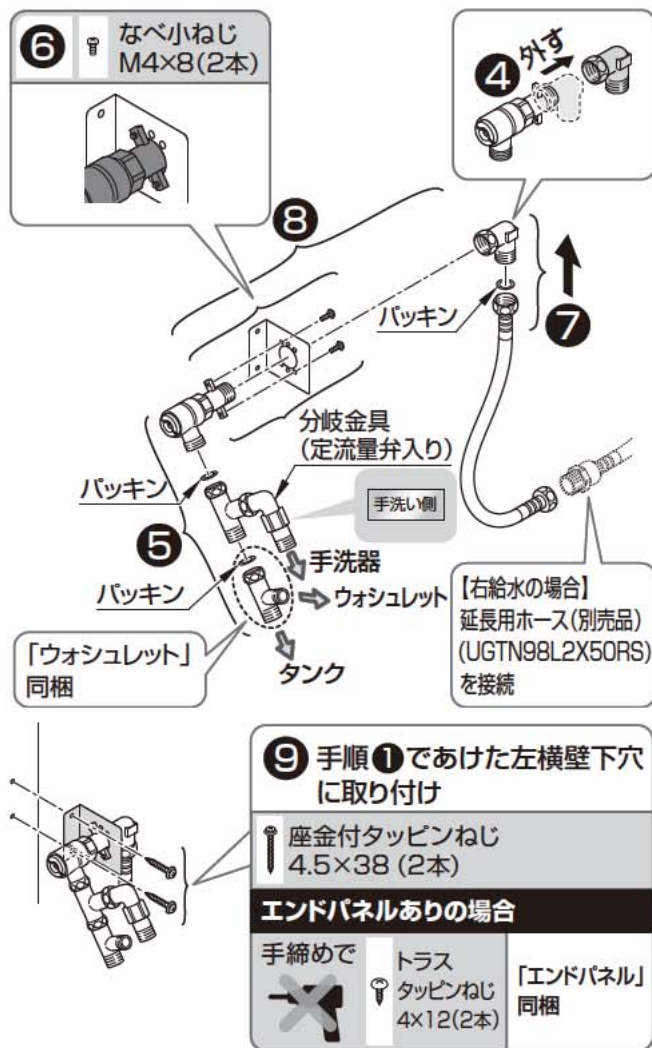
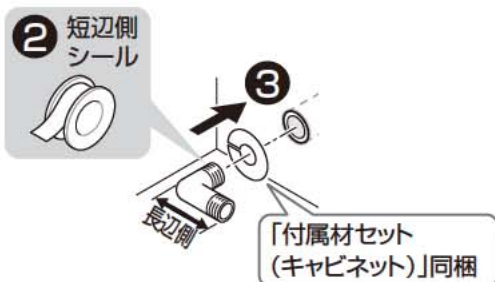
※図は止水栓が左側にある場合



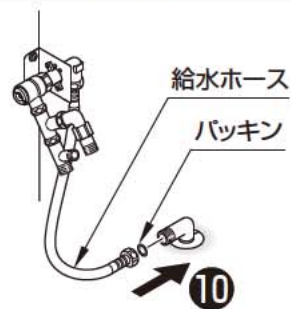
床給水



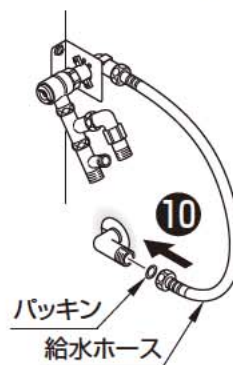
壁給水



床給水



壁給水



2 給水ホースの取り回し

床給水	給水取出口が壁掛大便器スタンドの中心より左側の場合 (大便器スタンドの外側)
壁給水	
壁給水	給水取出口が壁掛大便器スタンドの中心より左側の場合 (大便器スタンドの内側)
床給水	
壁給水	

3 ホースクランプ固定位置のけがき

1 測定	自動水栓の場合 2 けがき
ハンドル式水栓の場合 L+690 (ベッセルタイプ(丸形)/ベッセルタイプ(角形)・右勝手) L+470 (ベッセルタイプ(角形)・左勝手) L-290 (ハイバックタイプ) 2 けがき	

4 フレキホースの取り付け

1	2 ホースクランプで固定する トラスタッピンねじ 4×40 (3本) 「付属材セット (キャビネット)」同梱 ※フレキホースの取り回しは 5 参照
----------	--

5 フレキホースの取り回し

⚠ 警告



禁止

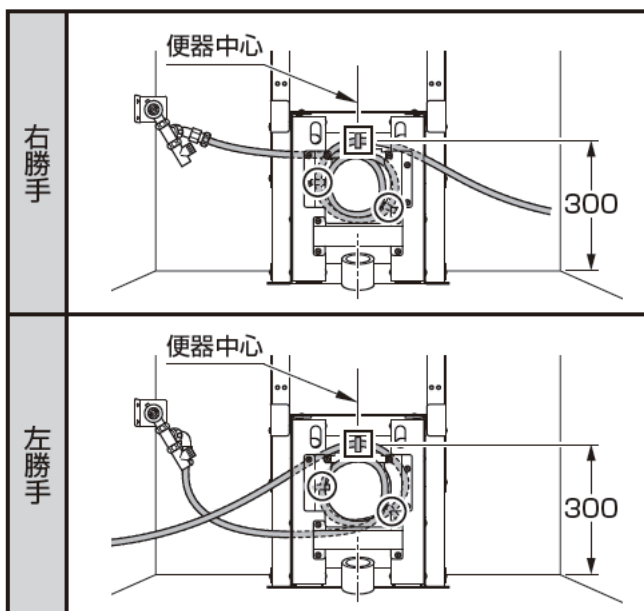
ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

□: ホース固定位置
(3 ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定)

○: ホース固定位置
(任意の箇所を固定)

※下図は間口750mmの場合です。

間口寸法751mm以上の場合、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。



P.46 6.排水ソケットへ

既存給水流用 水抜方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

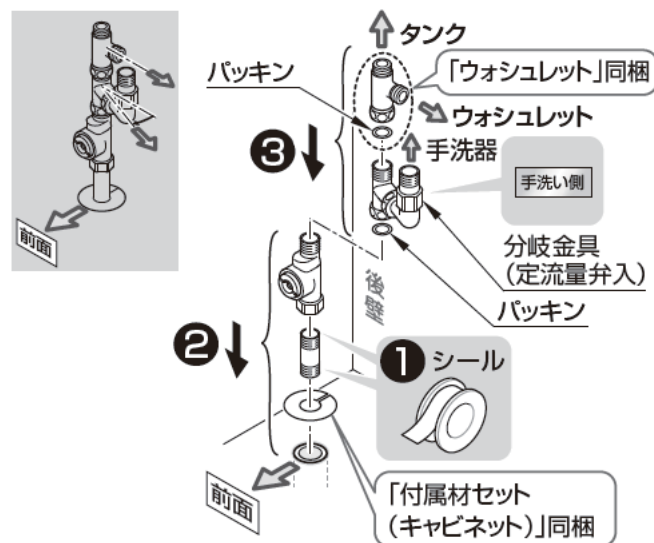
⚠ 注意



必ず守る

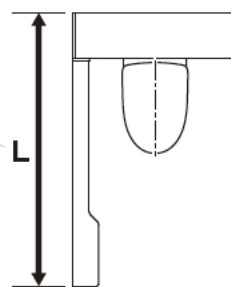
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓 (フィルター付き) を取り付ける。設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

※止水栓が右側にある場合、左右対称となります。

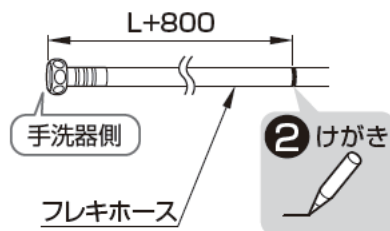


2 ホースクランプ固定位置のけがき

1 測定

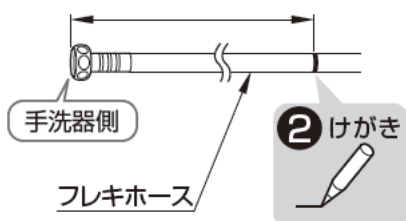


自動水栓の場合

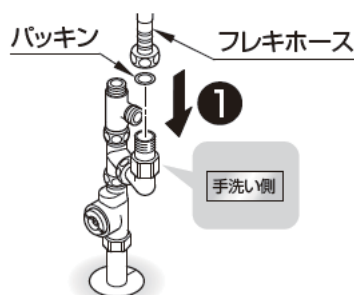


ハンドル式水栓の場合

L+690 (ベッセルタイプ(丸形)/ベッセルタイプ(角形)・右勝手)
L+470 (ベッセルタイプ(角形)・左勝手)
L-290 (ハイバックタイプ)



3 フレキホースの取り付け



2 ホースクランプで固定する

トラススタッピンねじ 4×40(3本) 「付属材セット(キャビネット)」同梱

※フレキホースの取り回しは **4** 参照

4 フレキホースの取り回し

警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。



ホース固定位置

(**2** ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定)



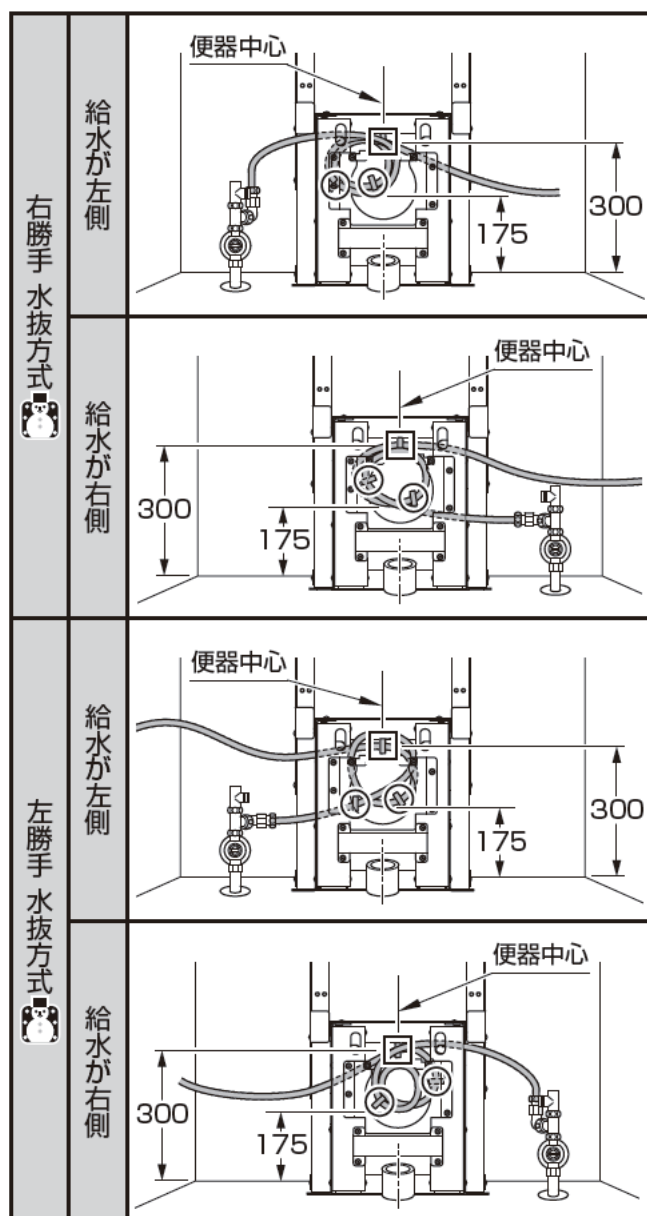
ホース固定位置

(任意の箇所を固定)

※ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。(水が抜けず、凍結する場合があります)

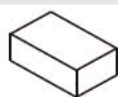
※下図は間口750mmの場合です。

間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回り範囲内でホースを取り回し、固定してください。



6. 排水ソケット

使用部材



詰め合わせ箱

排水ソケットセット

- 【まるごと収納タイプ・排水心200】
 【スリム収納タイプ・排水心120/200】
 【壁排水・後ろ抜き/左右抜き】

接続管組品



バッキン
(1個)



ホースクランプ
(1個)



(1個)

※図はまるごと収納タイプ・排水心200

排水管固定材セット



取付材
(3個)※1



皿タッピンねじ
4×40(2本)



結束バンド
(2個)※2

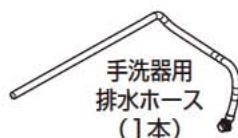
- ※1 残り1個は19.給排水部材(手洗器)で使用
 ※2 残り1個は20.試運転・確認で使用



その他包装

カウンター

排水管組品



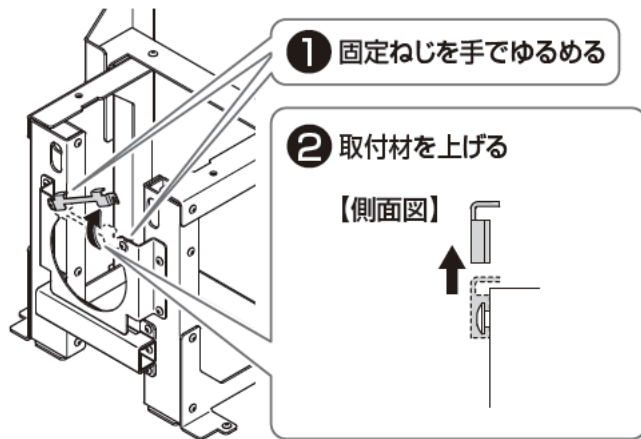
手洗器用
排水ホース
(1本)



クイックファスナー
(1個)

MEMO

1 排水ソケットの取り付け



⚠ 注意

必ず守る

ホースクランプは、電動ドライバーで締め付けない
排水ソケットにしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

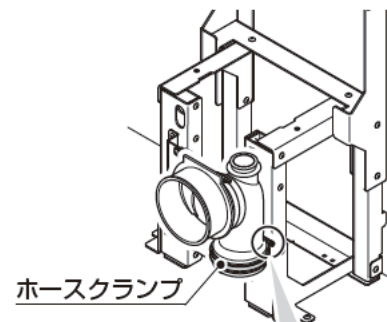
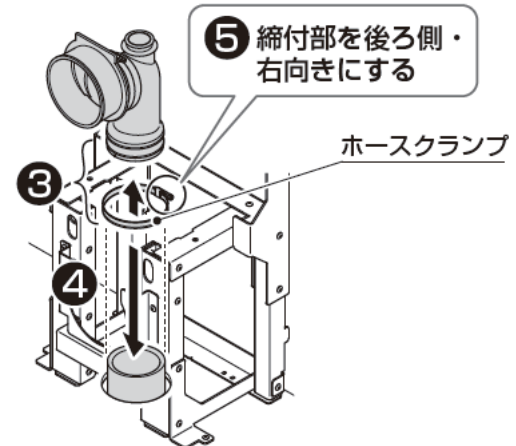
床排水120mmの場合	▶P.47
床排水200mmの場合	▶P.48
壁排水後ろ抜きの場合	▶P.48
壁排水左右抜きの場合	▶P.49

床排水120mm

⚠ 注意

必ず守る

手洗排水合流部が真上になるように、排水ソケットを接続する
排水ソケットが水平にならず、逆勾配になることがあります。



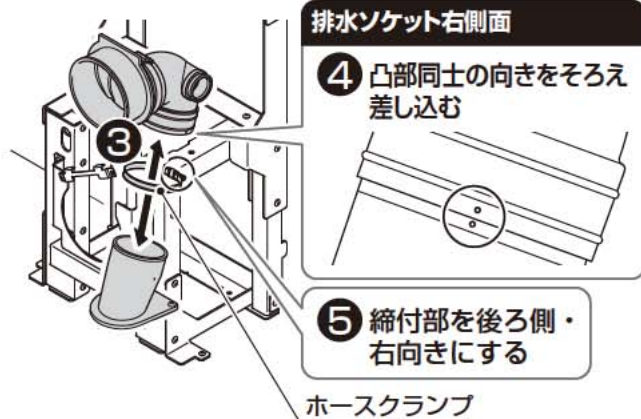
⑥ 手締めで



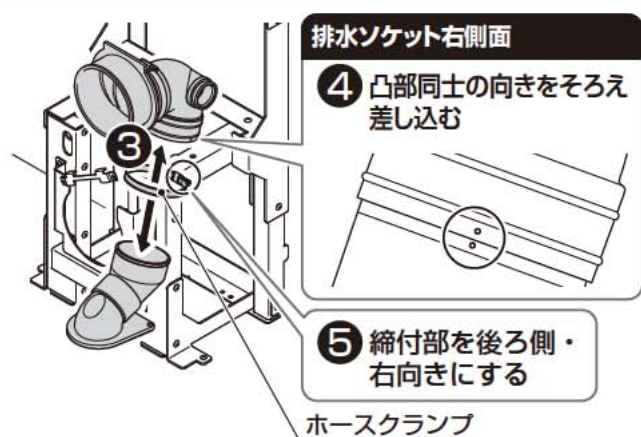
P.49 ⑦へ

床排水200mm

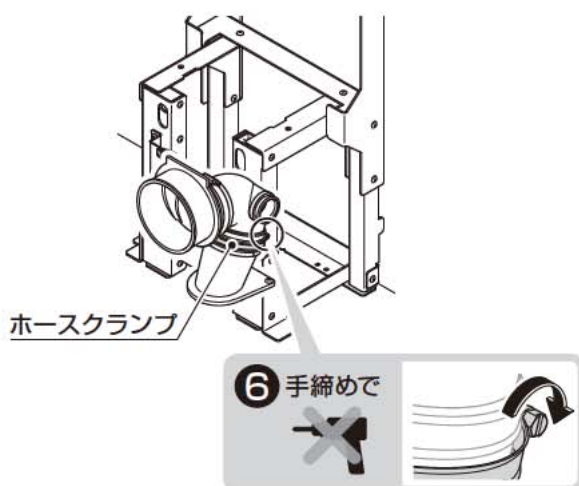
まるごと収納タイプ



スリム収納タイプ



まるごと収納タイプ/スリム収納タイプ 共通



P.49 ⑦へ

壁排水 後ろ抜き

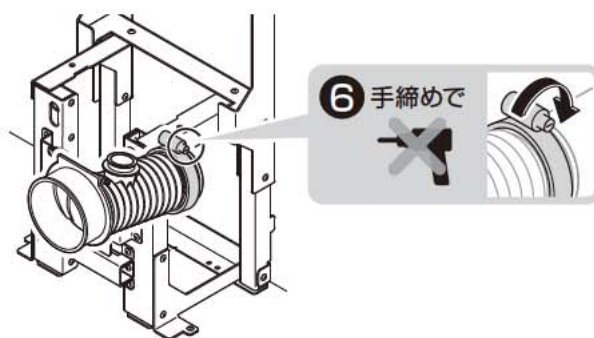
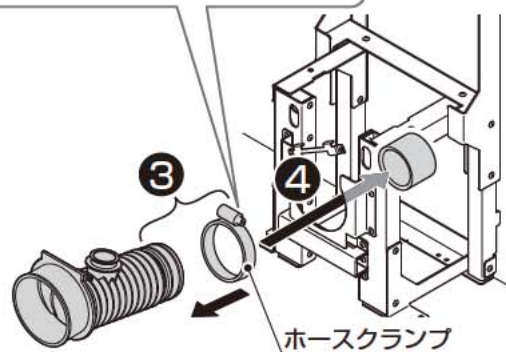
⚠ 注意



必ず守る

手洗排水合流部が真上になるように、排水ソケットを接続する
排水ソケットが水平にならず、逆勾配になることがあります。

⑤ 締付部を上側・右向きにする



P.49 ⑦へ

壁排水 左右抜き

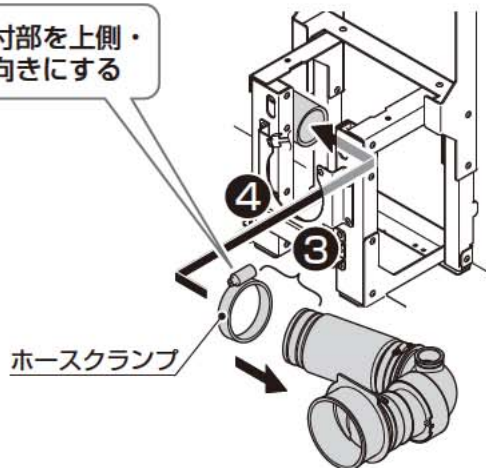
⚠ 注意



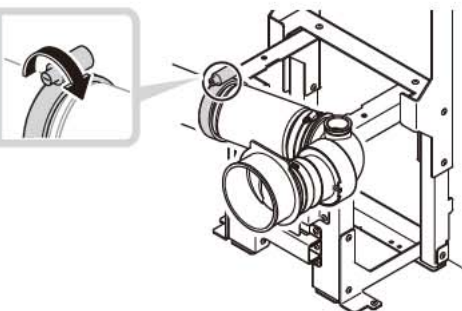
必ず守る

- ・手洗排水合流部が真上になるように、排水ソケットを接続する
排水ソケットが水平にならず、逆勾配になることがあります。
- ・排水管の高さにあわせて適切な角度で排水ソケットを接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

⑤ 締付部を上側・前向きにする



⑥ 手締めで



床排水 120mm/ 床排水 200mm/ 壁排水 後ろ抜き / 壁排水 左右抜き 共通

⑧ 取付材を下へ押し込む
【側面図】



⑨ 手締めで



引っ掛けて
ねじを締める
(2カ所)



⑦ 凹部分を幕板の溝にはめる



手洗排水合流部



凹部分

6

排水ソケット

2 パッキンの取り付け

⚠ 注意



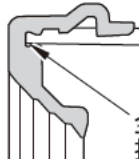
禁止

グリスは使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

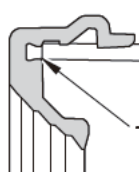


必ず守る

パッキンは排水ソケットに全周密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

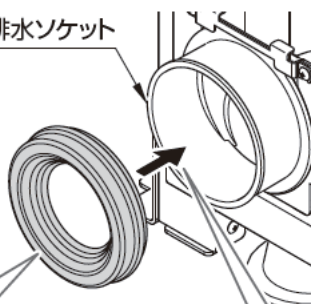


全周密着するまで押し込む



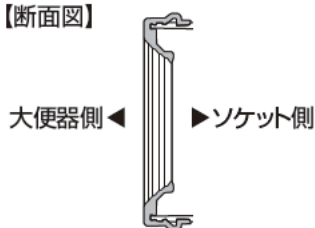
すき間がある

排水ソケット



① 排水ソケット外周の汚れを取り除き、装着する

【断面図】



大便器側 ◀ ▶ ソケット側

② 全周密着するまでしっかり押し込む

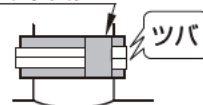
【断面図】



⚠ 注意

クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する

クイックファスナー



必ず守る

クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



	D寸法
まるごと収納タイプ	195
スリム収納タイプ	135

③ けがき → 下穴※



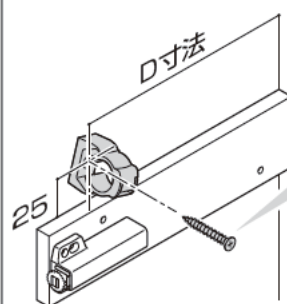
φ3

※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー (オプション)



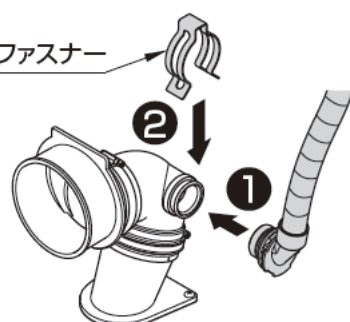
④ 皿タッピンねじ 4×40(1本)



⑤ 取付材に固定



クイックファスナー



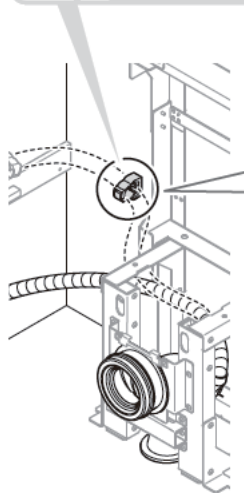
6 けがき → 下穴※



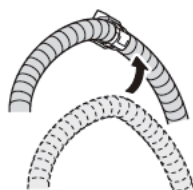
※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



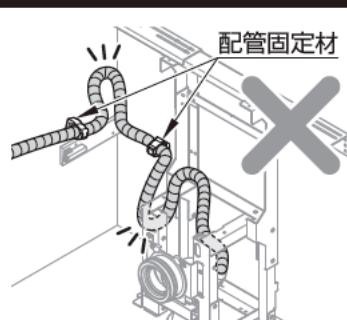
7 皿タッピンねじ 4×40(1本)



8 取付材に固定

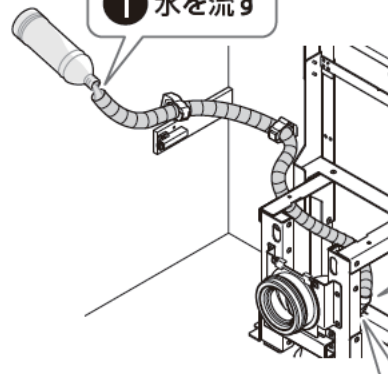


手洗器用排水ホースがたるまない
ように固定する
手洗器から異音発生のおそれがあります。

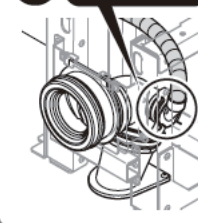


4 水漏れの確認

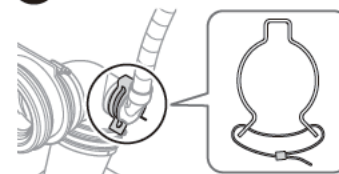
1 水を流す



2 水漏れ確認



3 結束バンドの取り付け



6

排水ソケット

7. コアキャビネット

使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

ねじセット(キャビネット用)



ボードアンカー
(4本)



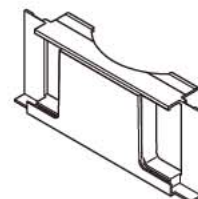
トラスッピンねじ
5×14(2本)



トラスッピンねじ
4×40(6本)

配管カバー

【まるごと収納タイプ・排水心200・やわらかフロアライトあり】
 【スリム収納タイプ・排水心120・やわらかフロアライトあり】
 【スリム収納タイプ・排水心200・やわらかフロアライトなし】
 【スリム収納タイプ・排水心200・やわらかフロアライトあり】



カバー(配管)
(1個)

※図はまるごと収納タイプ・排水心200・やわらかフロアライトあり



大便器スタンド

フレームセット

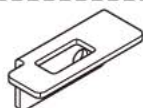


緩衝材
(2個)

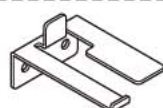
【やわらかフロアライトありの場合】

付属材セット(照明)

取付材セット(コントローラー)



取付材
(コントローラー)
(1個)



取付材
(コントローラー)
(1個)



トラスッピンねじ
4×10(5本)



その他包装

エンドパネル

施工部材セット(エンドパネル用)

ねじセット



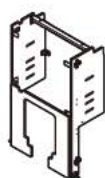
トラスッピンねじ
M4×18(2本)



コアキャビネット

コアキャビネット

コアキャビネット組品



(1台)

前板組品

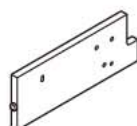
【スリム収納タイプ】
 【まるごと収納タイプ】



(1枚)

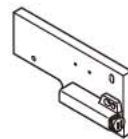
※図はスリム収納タイプ

側板組品(手洗器設置側)



側板組品
(1枚)

側板組品(手洗器と反対側)



側板組品
(1枚)



トラスッピンねじ
4×40(2本)

天板セット

取付材セット(横さん)



横さん
(1本)

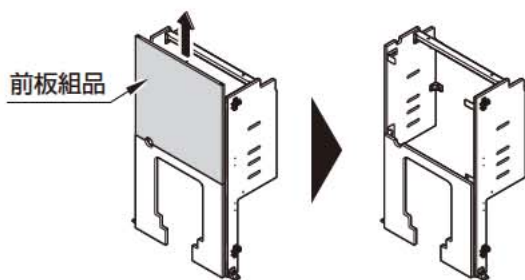
※図はまるごと収納タイプ



皿ッピンねじ
4×50(3本)

1 前板組品の取り外し

① 前板組品をコアキャビネット組品から取り外す



2 照明部材の取り付け

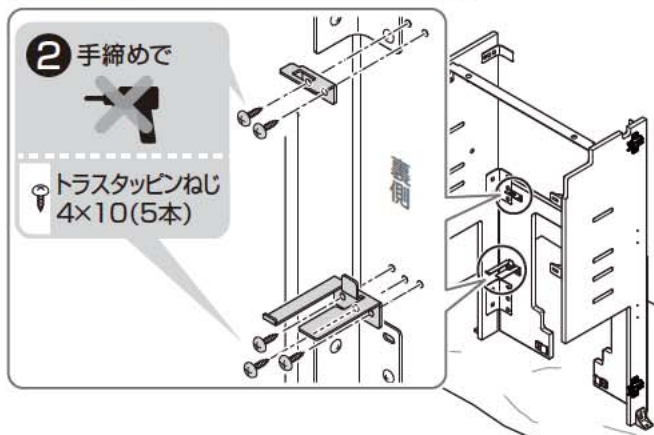
やわらかフロアライトなしの場合は **3** へ

① 養生シートなどの上で取り付けをする

コアキャビネット組品の表面がへこんだり、傷つくおそれがあります

② 手締めで

トラスタッピンねじ
4×10(5本)



3 カバー(配管)の取り付け

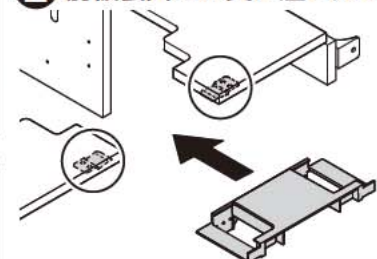
※下記タイプによりカバー(配管)の形状が異なります

やわらかフロアライトありの場合		やわらかフロアライトなしの場合
スリム収納タイプ・排水心120/まるごと収納タイプ/収納タイプの場合	スリム収納タイプ・排水心200の場合	スリム収納タイプ・排水心200の場合

① コアキャビネット組品を床に置く

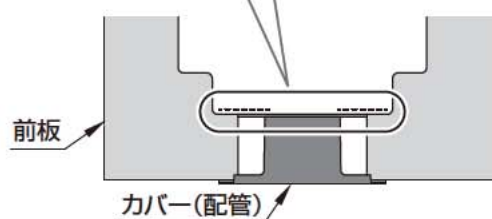


② 前板裏面の金具に差し込む



上からキャビネットを被せようとする
と金具にうまくはまらず破損のおそれ
があります

③ 前板の上端とカバー(配管)上端をあわせる

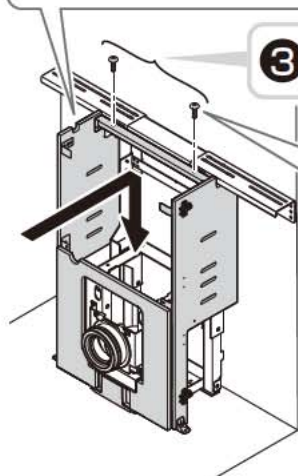


※タイプによりカバー(配管)の形状が異なります

MEMO

4 コアキャビネット組品の取り付け

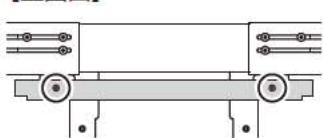
1 コアキャビネット組品をスタンドに載せる



3 トラストッピンねじ 5×14(2本)

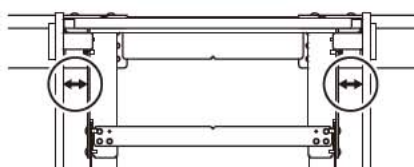
2 穴位置をあわせる

【上面図】

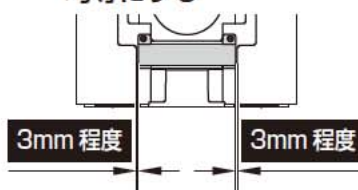


4 コアキャビネット組品とスタンド柱の左右のすき間を均等にする

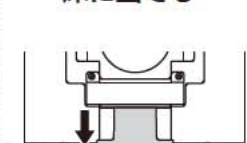
【正面図】



5 左右のすき間を均等にする



6 カバー(配管)を床に当てる



7 けがき → 下穴

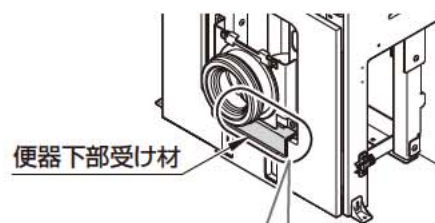


※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー



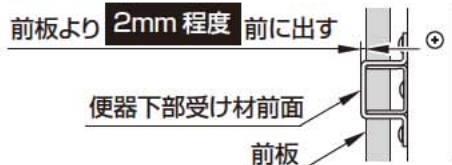
8 トラストッピンねじ 4×40(4本)

ねじ固定時に側板が曲がらないようにすること



9 便器下部受け材の位置あわせをする

【右側面図】



10 ゆるめる

12 固定する



13 けがき → 下穴

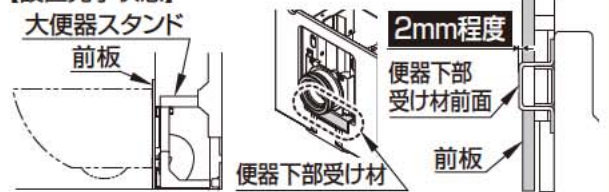


14 トラストッピンねじ 4×40(左右各1本)

11 床に当てる

便器下部受け材前面が前板より2mm程度、前に出ていることを確認する
便器下部受け材が前板より引っ込んでいると、前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

【設置完了状態】

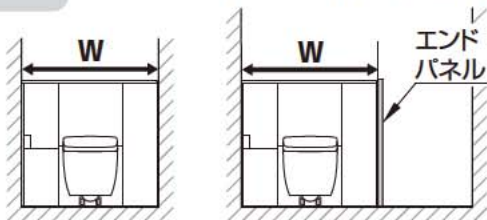


5 横さんの取り付け

1 測定



【エンドパネルありの場合】



3 けがき → 右側カット



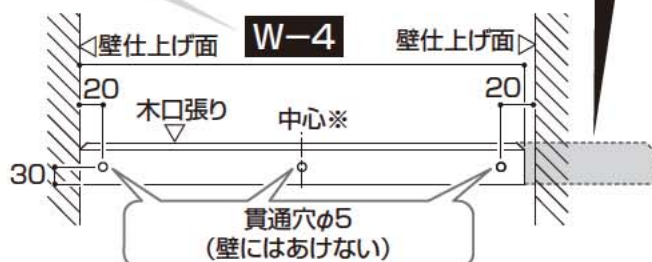
チッピングに
注意すること

木口張り

木口張り面
からカットする



2 測定



※壁裏補強なしの場合は間柱中心

まるごと収納タイプの場合

▶P.55

スリム収納タイプの場合

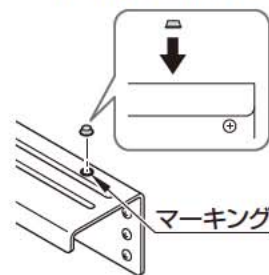
▶P.56

まるごと収納タイプ

4 脱脂

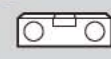


5 マーキング箇所に 緩衝材を圧着する



8 左に突き当てる

9 水平確認



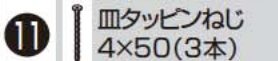
6 けがき



10 けがき → 下穴



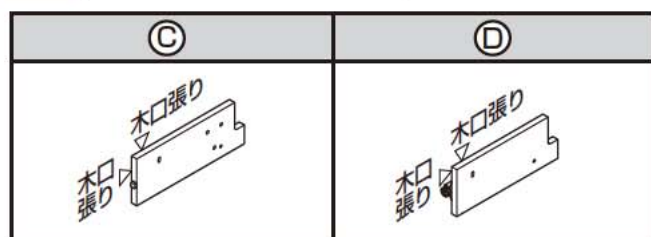
11 皿タッピンねじ 4×50(3本)



7

コアキャビネット

6 側板組品の取り付け



④ けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー (オプション)



⑤ トラストッピンねじ
4×40 (左右各2本)

エンドパネルありの場合のみ対応

手締めで

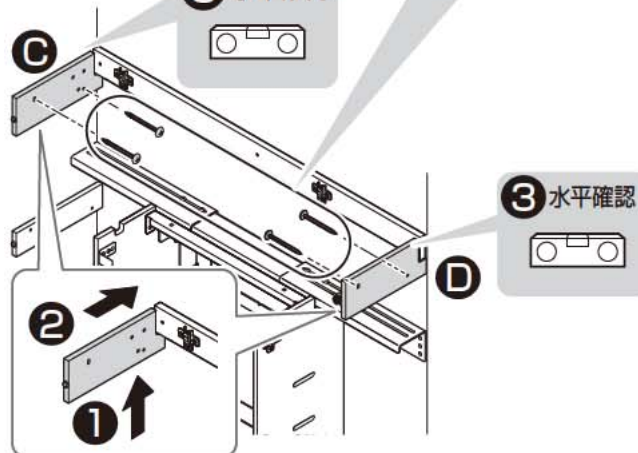


トラス小ねじ
M4×18 (2本)

「エンドパネル」同梱

必ず使用すること

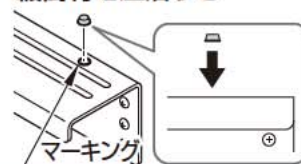
③ 水平確認



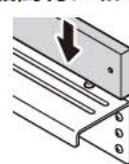
P.58 8.やわらかフロアライトへ

スリム収納タイプ

④ マーキング箇所
に緩衝材を圧着する



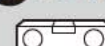
⑤ 横さんを
緩衝材に載せる



施工不良防止

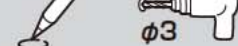
⑧ 左に
突き当てる

⑨ 水平確認

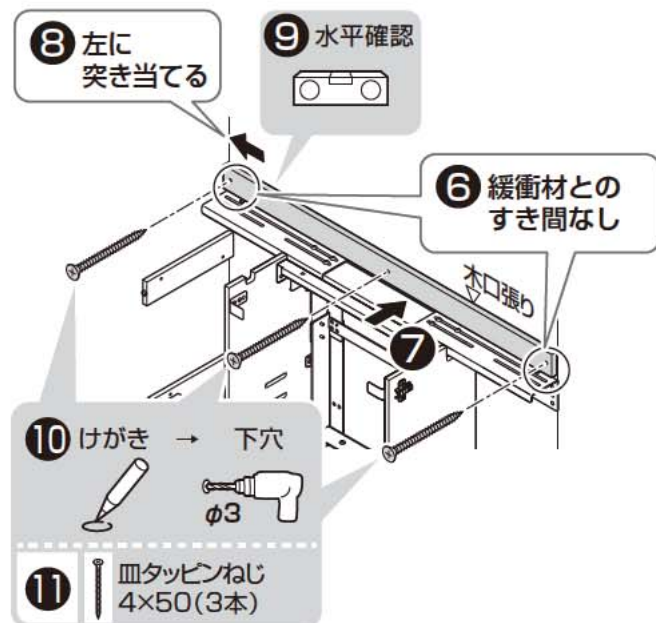


⑥ 緩衝材との
すき間なし

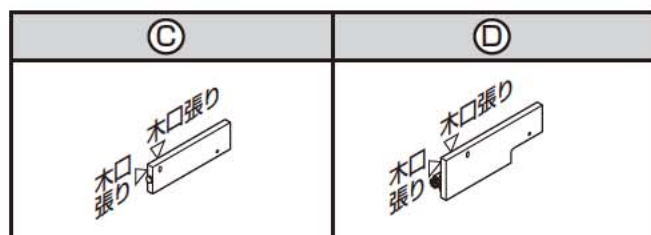
⑩ けがき → 下穴



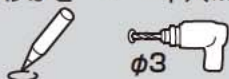
⑪ 皿タッピンねじ
4×50 (3本)



6 側板組品の取り付け



4 けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



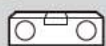
5 トラストッピンねじ 4×40(左右各2本)

エンドパネルありの場合のみ対応

手締めで「エンドパネル」同梱



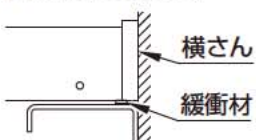
3 水平確認



3 水平確認



2 横さん下端面にあわせる【A方向から見た図】



MEMO

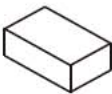
7

コアキャビネット

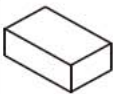
8. やわらかフロアライト

やわらかフロアライトなしの場合は
 P.60 9. 大便器へ

使用部材



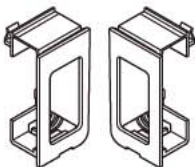
詰め合わせ箱



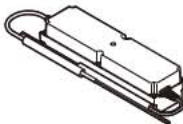
大便器スタンド

配管カバー

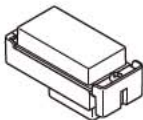
付属材セット(照明)



取付材(照明)
 LR各1個



電源コントローラー
 (1個)

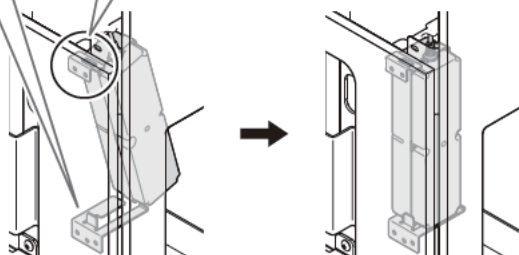
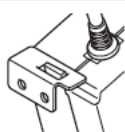


照明(LED)
 (2個)

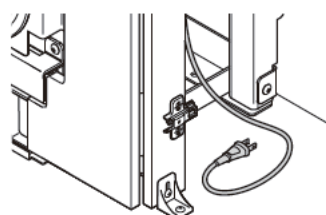
MEMO

1 電源コントローラーの取り付け

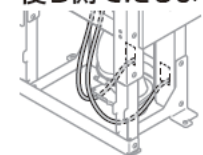
- ① 凸部を上側板金の穴に入れ込み
下側板金に載せる



- ② 電源コードを
右側から外に出す

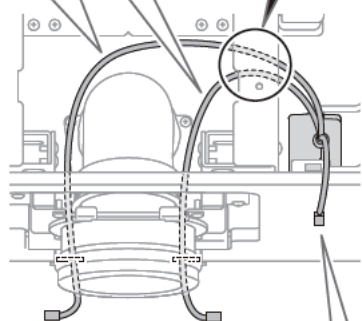


- ⑥ キャビネット内部の
後ろ側でたるませる



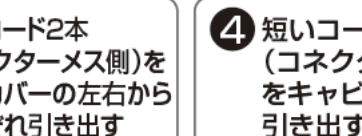
- ③ 長いコード2本
(コネクターメス側)を
スタンドの下側に通す

スタンドや側板との間にコード
を通さないこと

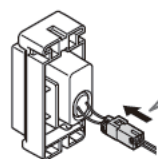


- ⑤ 長いコード2本
(コネクターメス側)を
配管カバーの左右から
それぞれ引き出す

- ④ 短いコード
(コネクターオス側)
をキャビネット外に
引き出す

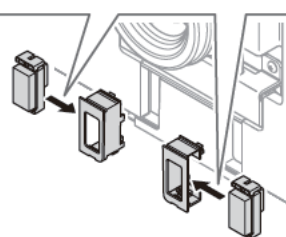


2 照明部材の取り付け



- ① 照明(LED)
にコネクター
を取り付ける

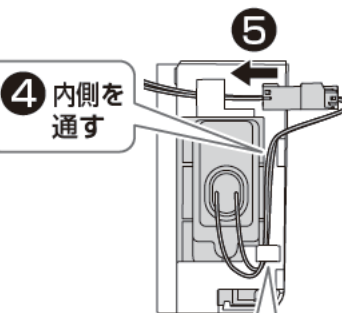
- ② 取付材(照明)にはめる
※取付材(照明)にはL/Rがあります。



【正面図】



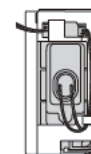
Rが内側



- ④ 内側を
通す

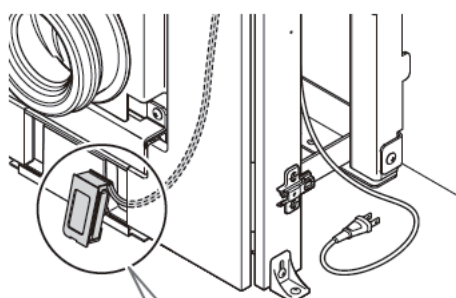
⑤

【取付後イメージ(裏面)】



- ③ ハーネスをフックに
ひっかける

3 照明(LED)の取り付け



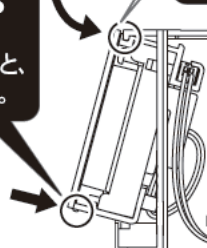
- ③ 突起が
はまるまで
押し込む

水平にしてから
押し込むこと
※斜めにしすぎると、
はまりません。

- ① 取付材凸部分を
引っ掛ける

コードを挟み込まないこと

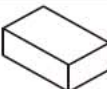
- ② コードを横側
から引っばる



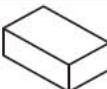
- ④ もう片方も同じように取り付ける

9. 大便器

使用部材



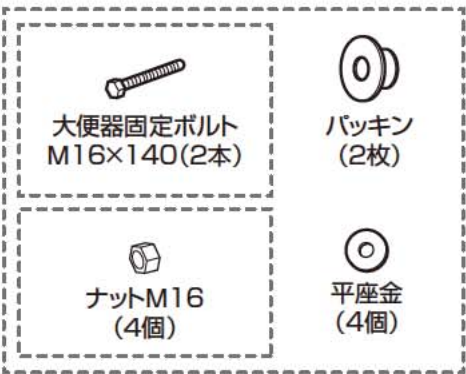
詰め合わせ箱
 タンク接続管セット



大便器スタンド



付属材セット(便器固定)





その他包装

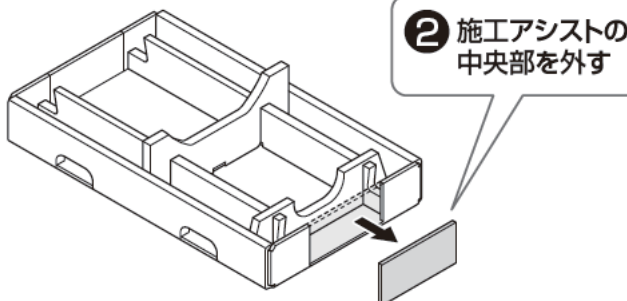
大便器



MEMO

1 大便器部材の取り付け

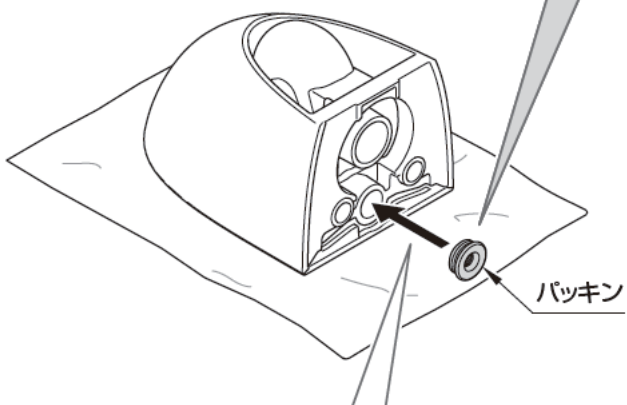
- ① 養生シートなどの上に大便器をひっくり返し載せる
キズ・割れ防止



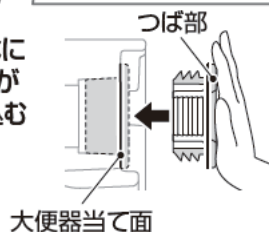
⚠ 注意

禁止	グリスは使用しない 劣化し水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
必ず守る	大便器の底にはり付けている断熱材は、はがさない はがしたり傷つけたりすると結露した水によって家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

- ③ パッキン表面に水または石けん水をつける



- ④ 手のひらをパッキン全体に当て、パッキンのつば部が大便器に当たるまで押し込む



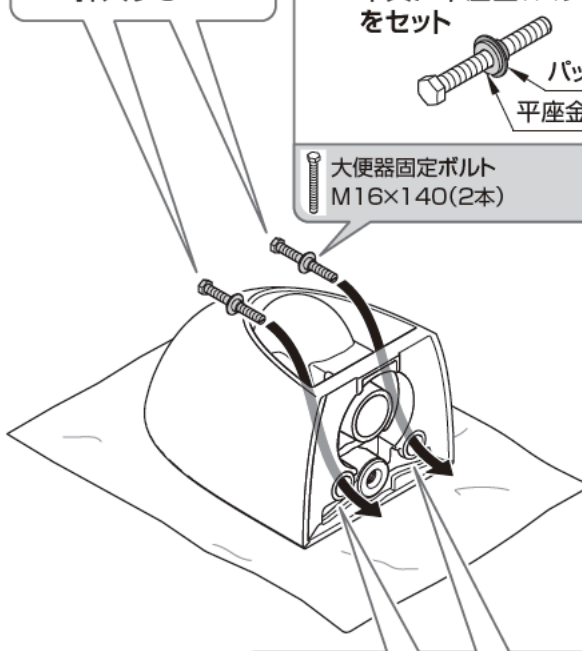
水漏れ防止

- ⑤ 大便器固定ボルト全長の中央に平座金、パッキンをセット



大便器固定ボルト
M16×140(2本)

- ⑥ 大便器底面から挿入する



- ⑦ 手前へ引き出す



- ⑧ 大便器をひっくり返し、施工アシストに載せる

- ⑪ しっかり締め付ける

ナット(2個)を最後までしっかりと締め付ける

この部分には誤記があります。
訂正内容については、
冒頭の正誤表をご確認ください。

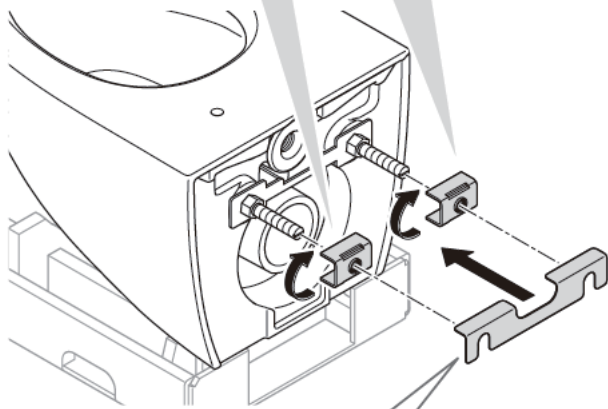
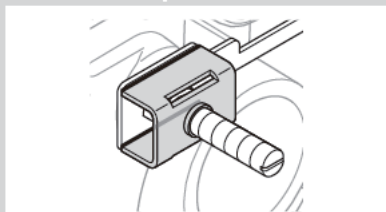


- ⑨ 便器端にあわせる

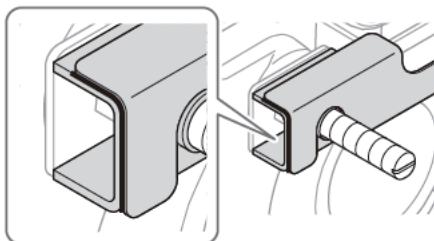
- ⑩ 取付材の切り欠きを上にし取り付ける

※上下を間違えると施工ができません。

- 12 しっかり
締め付ける
取付材をすき間が
なくなるまで回し
固定する

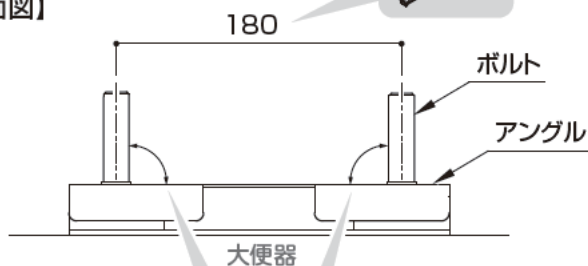


- 13 取り付け、すき間・段差がないことを確認する



- 15 測定

【上面図】



- 14 垂直確認



2 大便器の取り付け

⚠ 注意



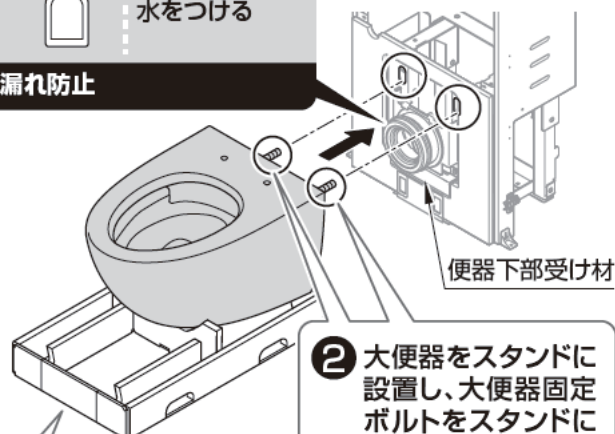
グリスは使用しない
劣化し水漏れして家財などをめらす財産損害
発生の原因となります。

- 1 石けん水



パッキン表面に
水または石けん
水をつける

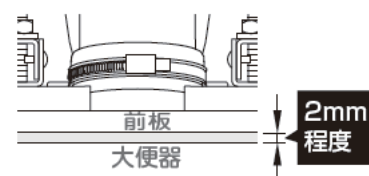
水漏れ防止



- 2 大便器をスタンドに
設置し、大便器固定
ボルトをスタンドに
差し込む

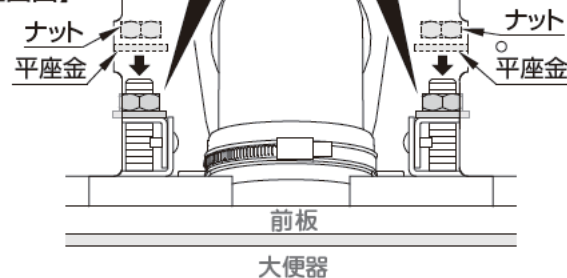
- 3 施工アシストを外す

- 4 しっかり
締め付ける



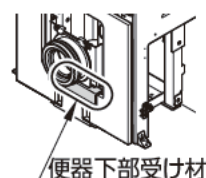
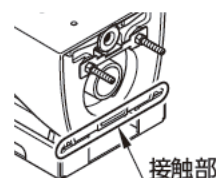
ナットを左右交互に締め付け、大便器を固定する

【上面図】



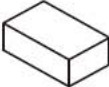
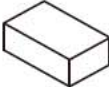
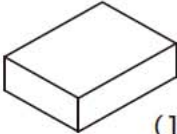
- 5 大便器先端に両手で荷重をかけ、ぐらつきおよび
異音有無を確認すること

- ☐ 大便器がぐらつかないこと
- ☐ 異音発生のないこと
- ☐ 前板と大便器のすき間が2mm程度のこと
- ☐ 便器下部受け材に大便器が接触していること



10. ウォシュレット

使用部材

 詰め合わせ箱 付属材セット (キャビネット)  キャップ (1個)	 その他包装 ウォシュレット  (1箱)
---	--

MEMO

1 ウォシュレットの設置

ウォシュレットが傷つかないように養生してください。

参照 ウォシュレットの施工説明書

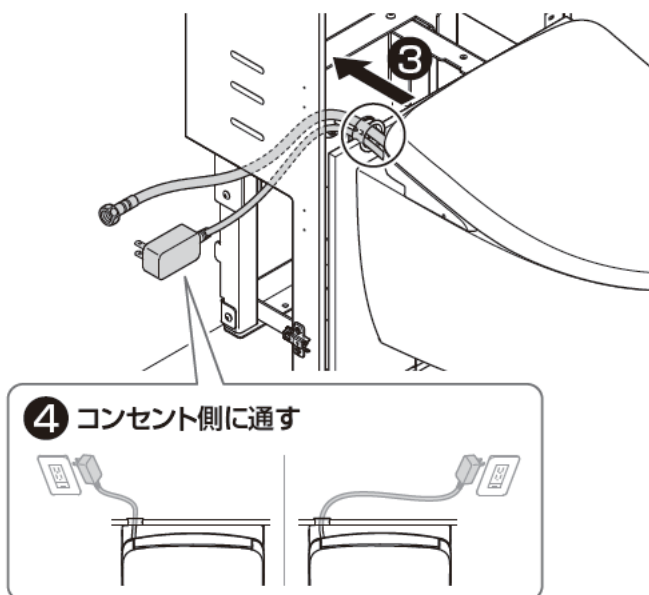
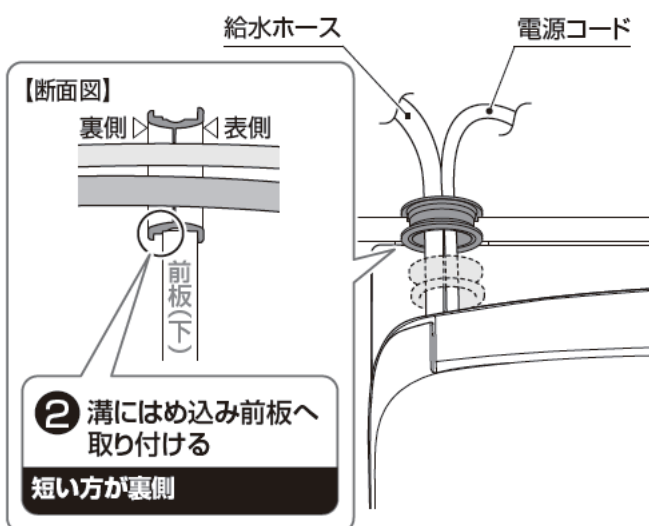
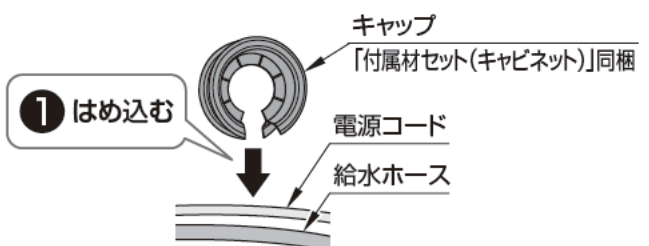
※作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出しておく

既存給水流用(水抜方式)右側立ち上げの場合のみ対応

給水ホースを交換する

別売品 ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

2 給水ホース・電源コードの取り回し



3 給水ホースの接続

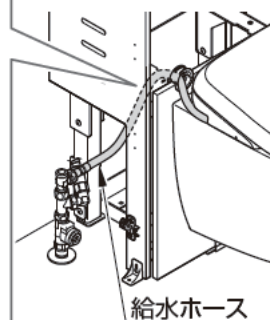
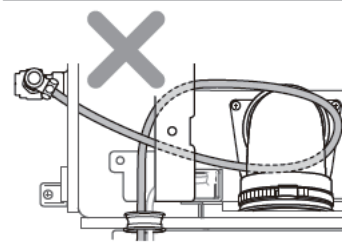
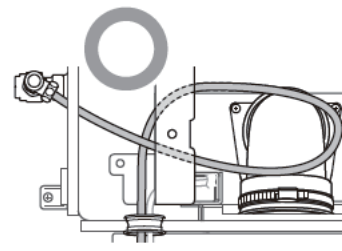
⚠ 注意



禁止

給水ホースを折り曲げたりしない
水漏れの原因となります。

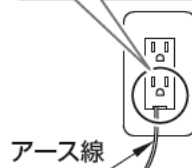
- 1 給水ホースが接続管組品の上下をまたがないように取り回す



4 アース線の接続

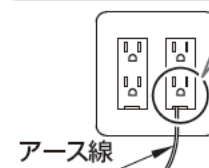
2口コンセントの場合

- 1 アース線のみ
下側に取り付ける



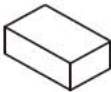
4口コンセントの場合

- 1 アース線のみ
右下側に取り付ける

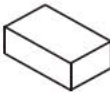


11. タンク接続管

使用部材



詰め合わせ箱



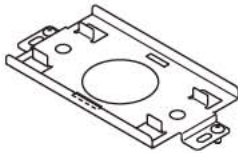
大便器スタンド

タンク接続管セット



接続管組品
(1個)

取付材組品(接続管)



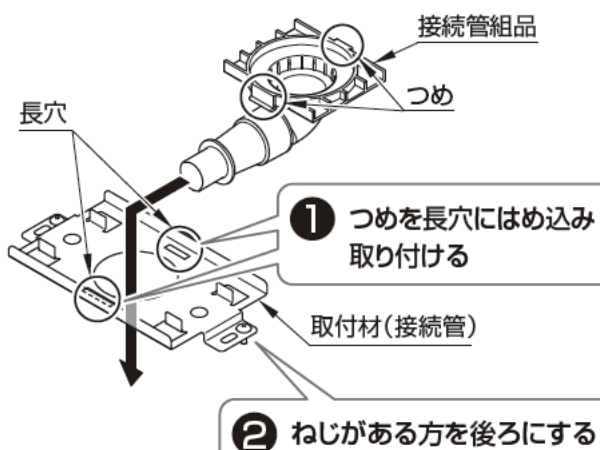
取付材(接続管)
(1枚)



トラス小ねじ
M6×16(2本)

MEMO

1 接続管組品の組み立て



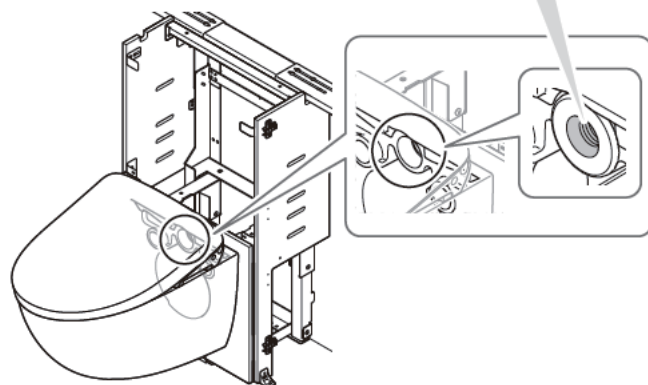
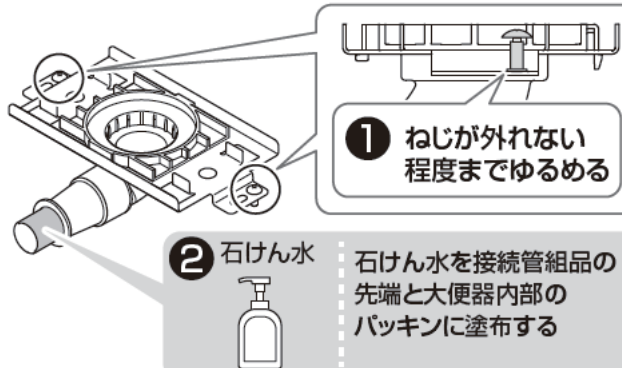
2 接続管組品の取り付け

⚠ 注意

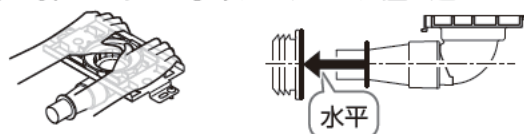


禁止

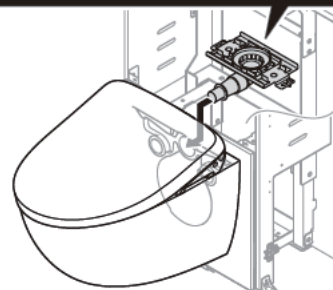
グリスは使用しない
劣化し水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



③ 接続管組品が取付材(接続管)から外れないように手で押さえながら水平にパッキンに差し込む



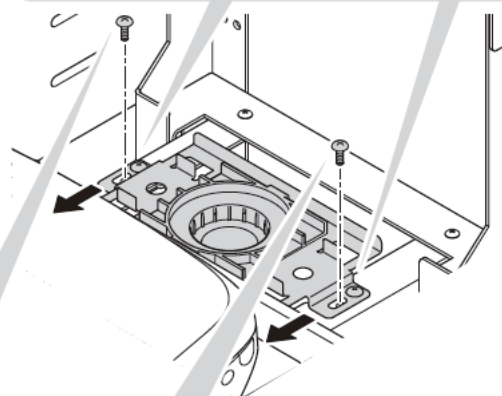
接続管組品のつま部がパッキン表面に当たるまで押し込む



④ 水平確認 → 手締めで



前後左右の水平を確認しながらねじを締める
接続管組品が水平でない場合、あとでセットタンクを設置した際、セットタンクが傾きコアキャビネット組品や照明部材と干渉します。



⑤ 手締めで



トラス小ねじ
M6×16 (2本)

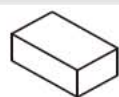
取付材(接続管)ごとと接続管組品を前方(大便器側)に寄せてねじを締め付ける

⑥ 作動確認

□ねじにゆるみ、ガタつきがないこと

12. セットタンク

使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

取付材セット ※図はスリム収納タイプの場合



取付材(洗浄レバー)
(1個)



トラス小ねじ
5×8(1本)



洗浄レバー
(1個)

ホースクランプセット※水抜方式の場合



ホースクランプ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×40(1本)



コアキャビネット

セットタンク



(1個)

バック
固定ナット



ピン(1個)
※ピンはジョイント端
に付いています。

カバー(A)
(1個)

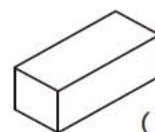


カバー(B)
(1個)



その他包装

便器洗浄ユニット



(1箱)

MEMO

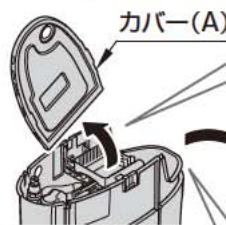
1 セットタンクの取り付け

⚠ 注意



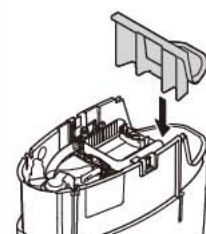
必ず守る

カバー(B)がしっかり閉まっていることを確認する
カバー(B)が開まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて
家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



① カバー(A)・カバー(B)
を取り出す

カバー(B)



② カバー(B)の取り付け



注意



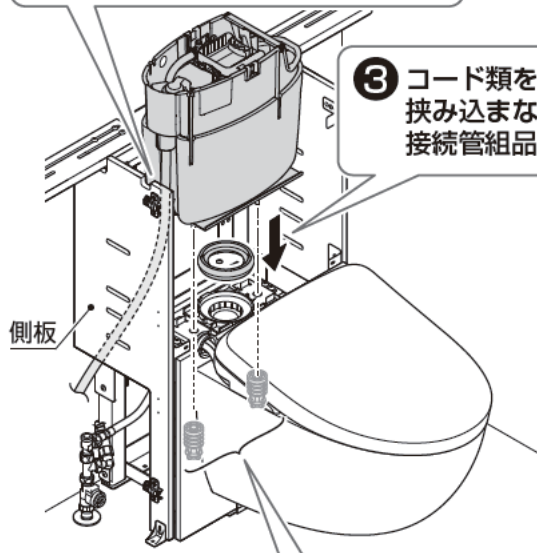
必ず守る

セットタンクにパッキンがセットされていることを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

4 スタンドと側板のすき間を通す

3 コード類を挟み込まないよう、接続管組品に載せる



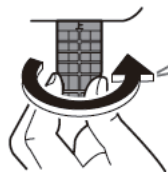
注意



必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットは交互に締め付ける
セットタンクが傾いて取り付け、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



5 手締めでかたく締め付ける

破損防止

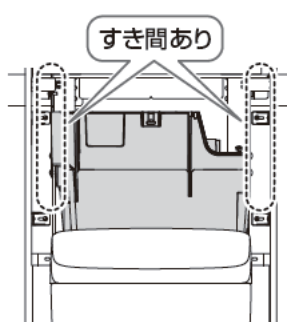
6 すき間を確認する

※セットタンクがコアキャビネット組品に干渉している場合は、セットタンクを外して、接続管組品が傾いていないか、確認してください。

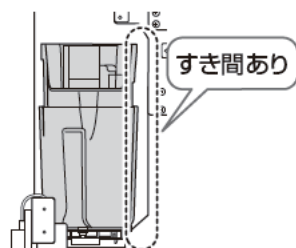
□接続管組品とセットタンク下部の板金(黒)との間



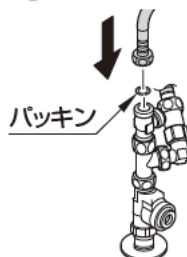
□セットタンクと側板の間



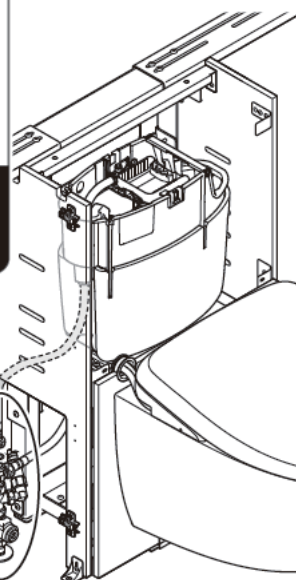
□セットタンクと後壁の間



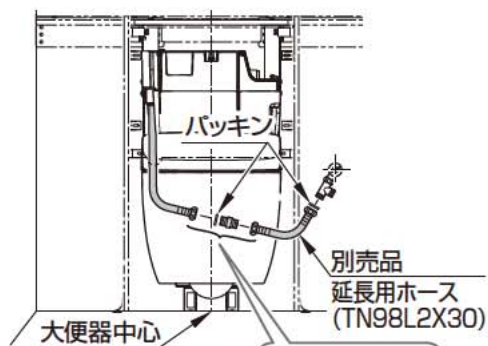
7 取り付け



壁給水の壁排水 左抜きの場合、
水抜方式の止水栓が右側に
ある場合はP.69参照



壁給水/壁排水 左抜きの場合



8 取り付け

水抜方式 / 止水栓が右側にある場合

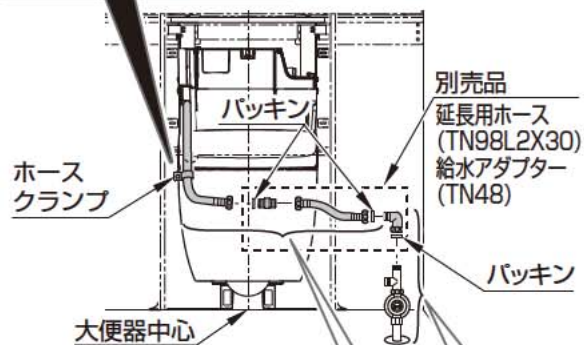
ホースがたるまないよう
後壁に固定する

8 【壁裏補強ありの場合】
けがき → 下穴



9 トラスタッピンねじ
4×40(1本)

逆勾配防止



10 取り付け

2 洗浄レバーの組み立て

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが
異なります。

2 しっかり
締め付ける

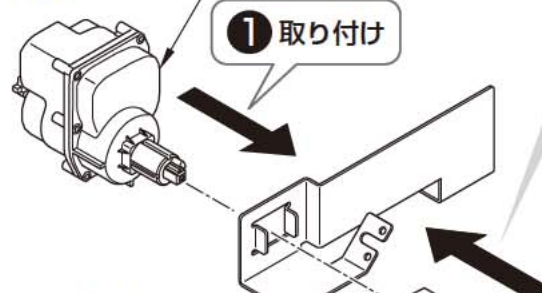


ナットが取付材
(洗浄レバー)の
つめに当たる
まで締める



本体
「便器洗浄ユニット」
同梱

1 取り付け

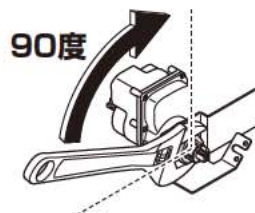


取付材
(洗浄レバー)

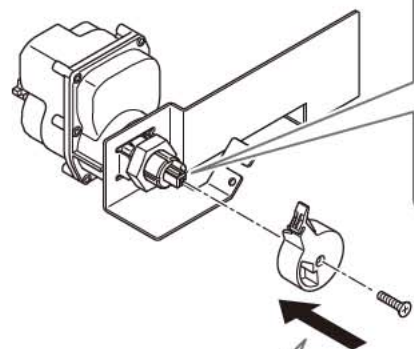
ナット

「便器洗浄ユニット」
同梱

3 モンキーレンチでナットを90度締め付ける



4 軸の凸と
洗浄レバーの
凹をあわせる



5 しっかり
締め付ける

手締めで

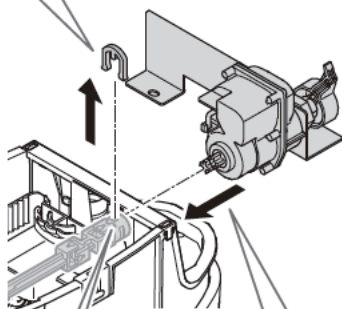
「便器洗浄ユニット」同梱

皿ねじ
3×10(1本)

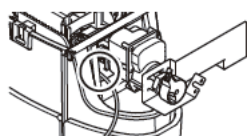
ガタツキ防止

3 洗浄レバーの固定

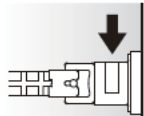
① ジョイントからピンを取り外す



② 本体コードを手前に出し、ジョイントを差し込む

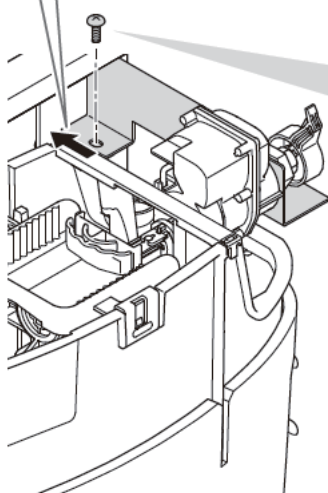


③ カチッと音がするまでピンを差し込む ピン固定位置



④ ジョイントが抜けないことを確認する

⑤ 本体コードを挟み込まないよう、スタンドの柱に押し当てる



⑥ 手締めで



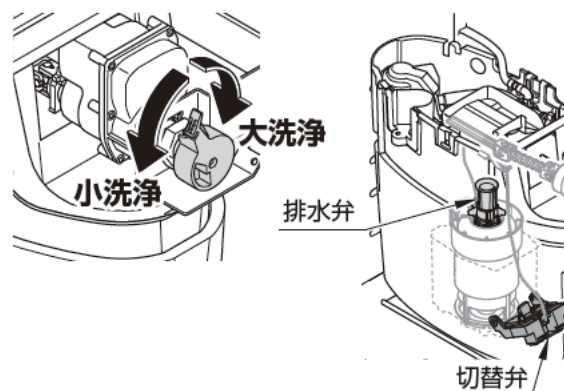
トラス小ねじ
5×8(1本)

「付属材セット
(キャビネット)」
同梱

4 洗浄レバーの作動確認

① 作動確認

- 洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ることを確認すること



! 注意

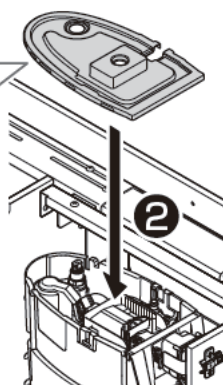
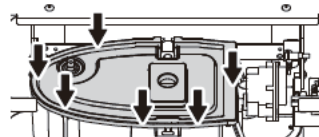


必ず守る

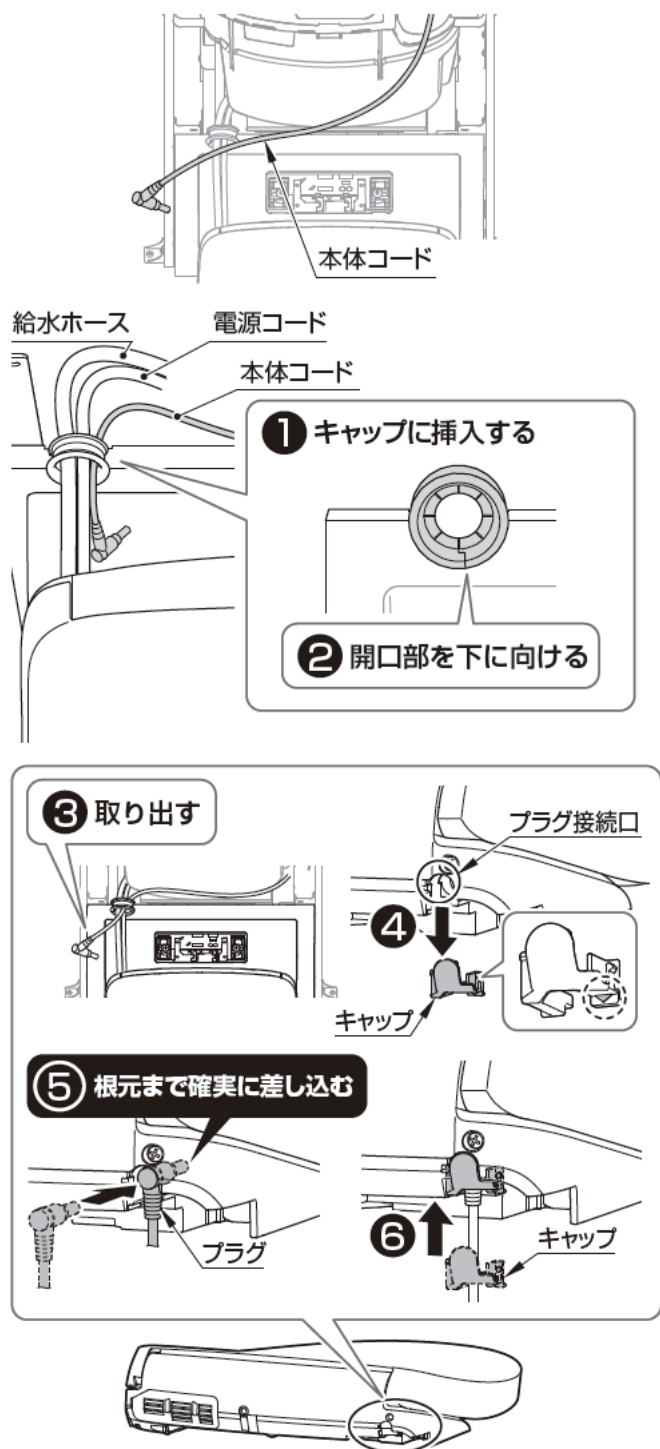
カバー(A)がしっかり閉まっていることを確認する

カバー(A)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

③ 浮き上がっていないことを確認する



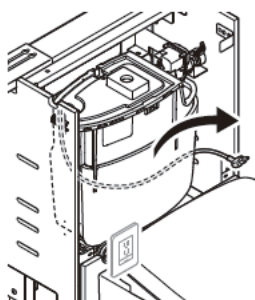
5 便器洗浄ユニットの取り付け



水抜方式

電源コードの取り直し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側に取り回しておく



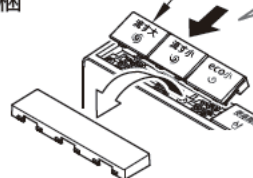
6 リモコンの設定・作動確認

1 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン

「便器洗浄ユニット」
同梱



2 流すボタンの取り付け

参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り付けられていません。必ず取り付けてください。

3 ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。

※ウォシュレット本体の電源が入ってないと設定を受け付けません。

ビデ/ワイド

水勢

4 水勢と-を同時に10秒以上押す



リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

水勢

水勢

5 水勢 - + の順に押す



ピーッ

ビデ/ワイド

水勢

6 水勢と+を同時に10秒以上押す



リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

水勢

おしり/ソフト

7 水勢 - + の順に押す



電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する

電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。

手順③に戻り設定しなおしてください。

本体表示部

<便座>

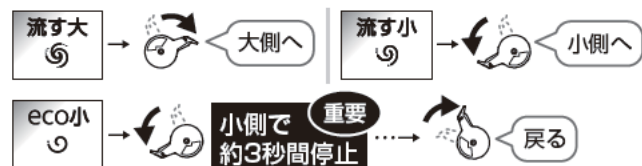
2回点滅



ピーッ、ピーッ

8 作動確認

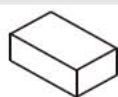
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

13. 前板（上）

使用部材



大便器スタンド

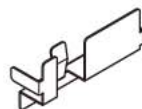
【やわらかフロアライトありの場合】

付属材セット(照明)



センサー
(1個)

取付材セット(センサー)



取付材(センサー)
(1個)

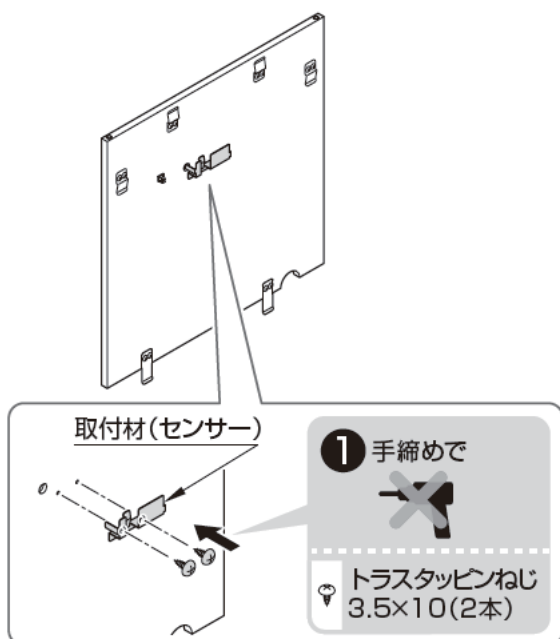


トラスタッピンねじ
3.5×10(2本)

MEMO

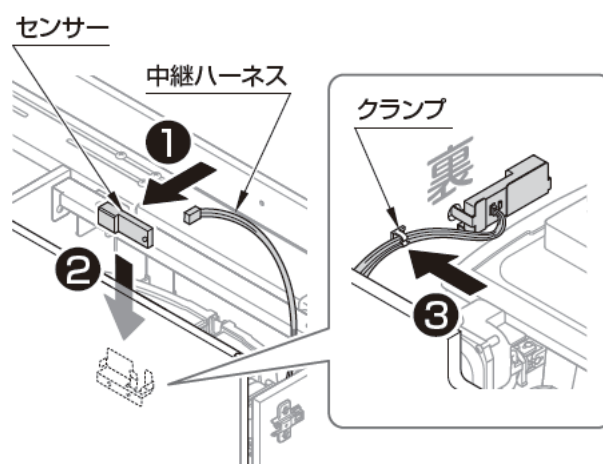
1 前板組品の組み立て

やわらかフロアライトなし
の場合は 2 へ



3 センサーの取り付け

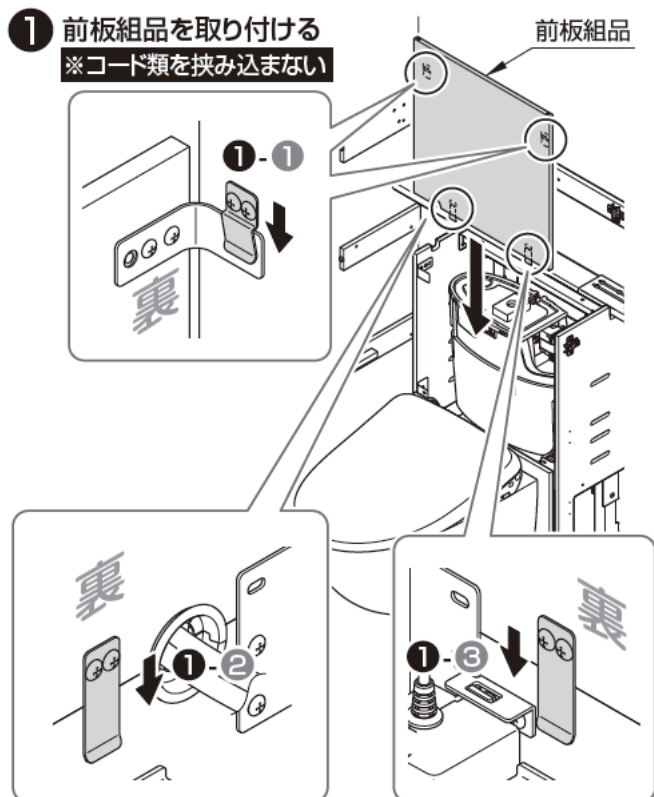
やわらかフロアライトなし
の場合は 14. 棚板 へ



2 前板組品の取り付け

1 前板組品を取り付ける

※コード類を挟み込まない



14. 棚板

使用部材



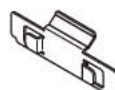
コアキャビネット

コアキャビネット

棚板セット



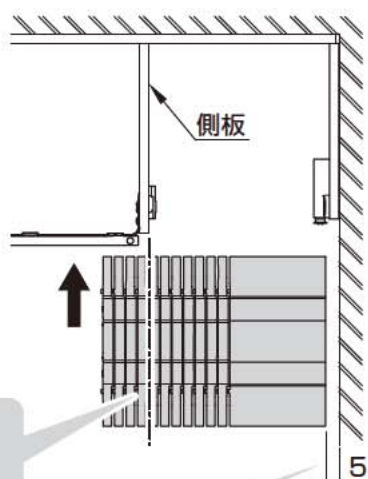
棚板
(2枚)



支持材
(2個)

1 棚板のカット

【上面図】

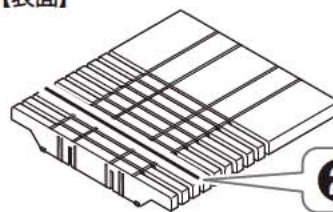


① けがき



壁から5mm程度すき間を空けて側板端から一番近い溝をけがく

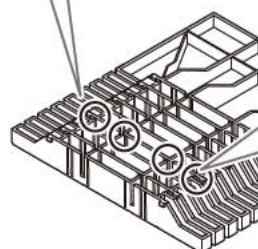
【表面】



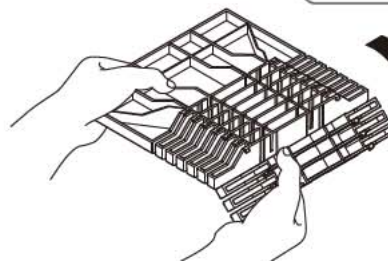
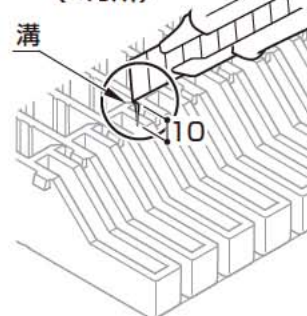
② カッターで2回程なぞる

【裏面】

③ けがいた位置を確認(4カ所)

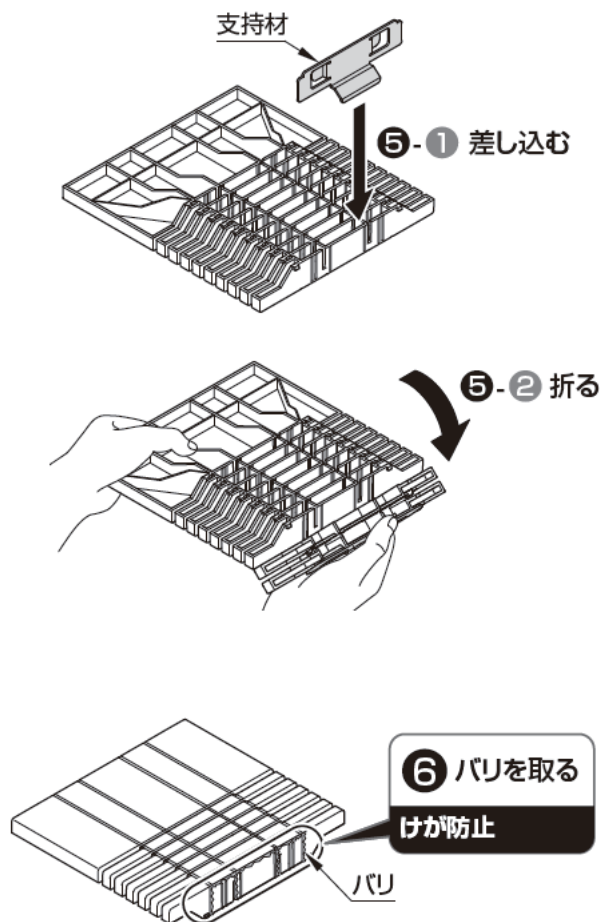


④ リブの溝にあわせて切り込みを入れる(4カ所)

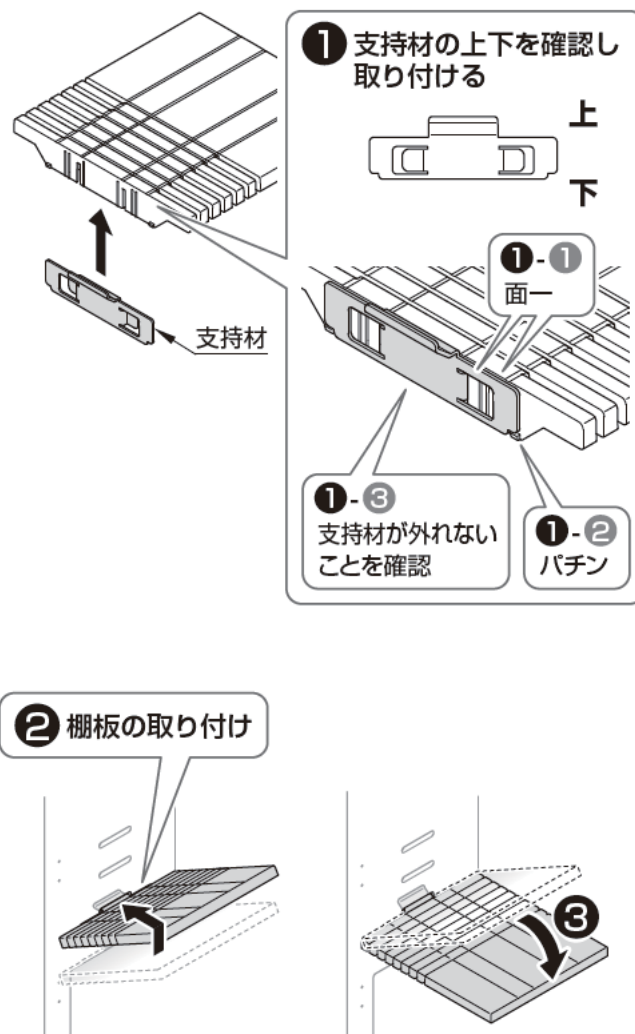


⑤ 折る

【棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合】

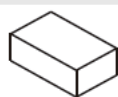


2 棚板の取り付け



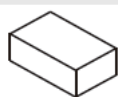
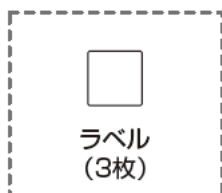
15. 扉

使用部材



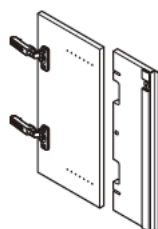
詰め合わせ箱

施工説明書



コアキャビネット

扉セット (手洗器設置側)



扉組品 (1セット)

扉セット (手洗器と反対側)



扉組品 (1セット)

※残り1本は22.仕上げで使用

1 扉組品の組み立て

1 測定



この部分には誤記があります。
訂正内容については、
冒頭の正誤表をご確認ください。



2 手締めで



トラスタッピンねじ 4×20(2本)

本固定用
(ここでは使用しない)
▶「22.仕上げ」

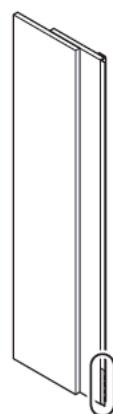
※図は扉セット (手洗器と反対側) の場合

幅木がある場合

3 カット



扉は開閉のため、床仕上げ面
から浮いているので切りすぎ
ないように注意すること



3-1
扉装着を想定して
幅木にあわせてカット

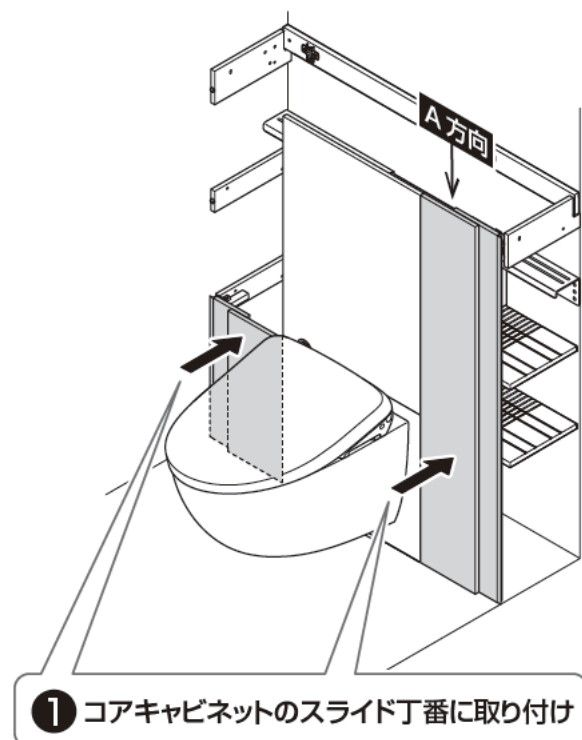
カット部

床仕上げ面

3-2
扉下端と床仕上げ面の
すき間(目安)

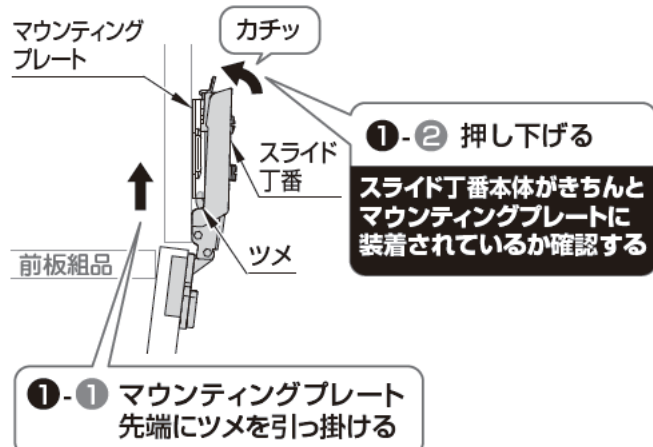


2 扉組品の取り付け



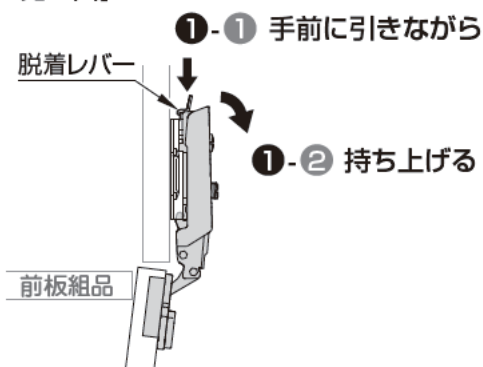
取り付けかた

【A方向から見た図】



取り外しかた

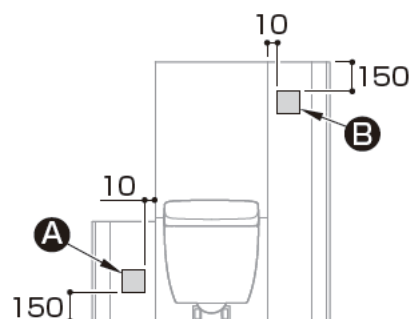
【A方向から見た図】



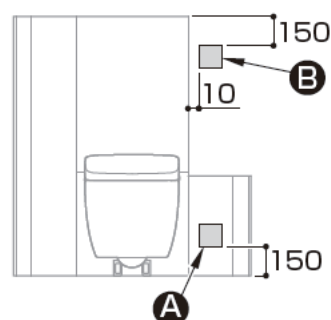
2 ラベルをはり付ける

A	止水栓ラベル
B	便器洗浄ラベル
C	4VOCラベル

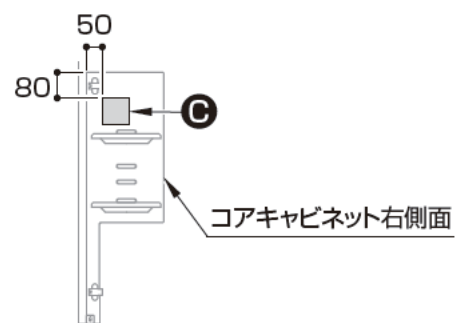
【止水栓が左にある場合】



【止水栓が右にある場合】



【右側面】



はり付け位置(参考)

16. 固定扉

使用部材



コアキャビネット

扉セット (手洗器設置側)

扉組品

【スリム収納タイプ】



扉 (1枚)

スライド丁番セット



スライド丁番 (2個)



丁番用スペーサー (2個)



皿タッピンねじ 3.5×14 (4本)

【まるごと収納タイプ】



扉 (1枚)

スライド丁番セット



スライド丁番 (2個)



丁番用スペーサー (2個)



皿タッピンねじ 3.5×14 (4本)

平板金・ねじセット



平板金 (1個)



トラスタッピンねじ 4×10 (4本)

キャップセット



キャップ (1個)



トラスタッピンねじ 4×8 (2本)

キャップセット



キャップ (1個)



トラスタッピンねじ 4×8 (2本)

1 扉のカット

左勝手の場合

1 測定

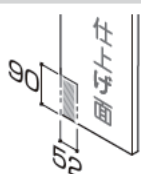


この部分には誤記があります。訂正内容については、冒頭の正誤表をご確認ください。

前板組品



3 けがき → カット



2 カット



仕上げ面を上にしてカットすること

施工不良防止

右勝手の場合

1 測定

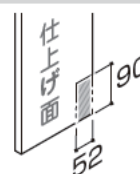


この部分には誤記があります。訂正内容については、冒頭の正誤表をご確認ください。

前板組品



3 けがき → カット



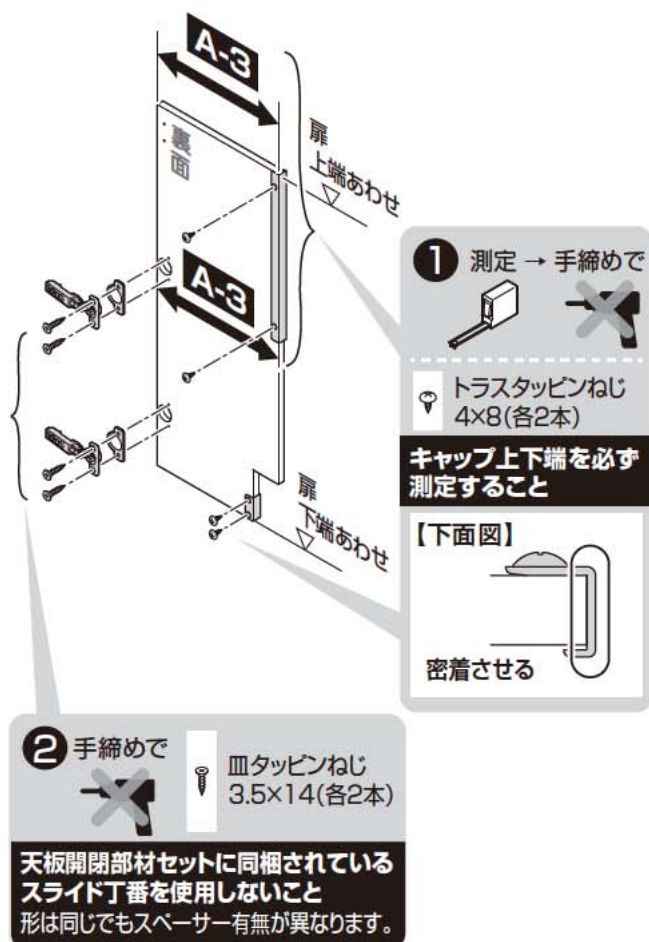
2 カット



仕上げ面を上にしてカットすること

施工不良防止

2 扉の組み立て



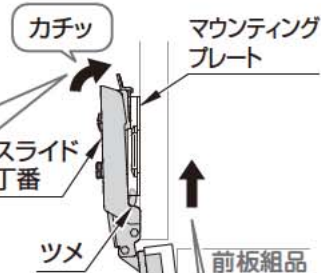
取り付けかた

【A方向から見た図】

② 押し下げる

スライド丁番本体がきちんと
マウンティングプレートに
装着されているか確認する

① マウンティングプレート 先端にツメを引っ掛ける

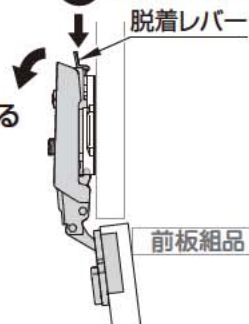


取り外しかた

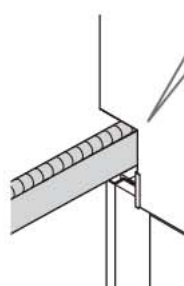
【A方向から見た図】

② 持ち上げる

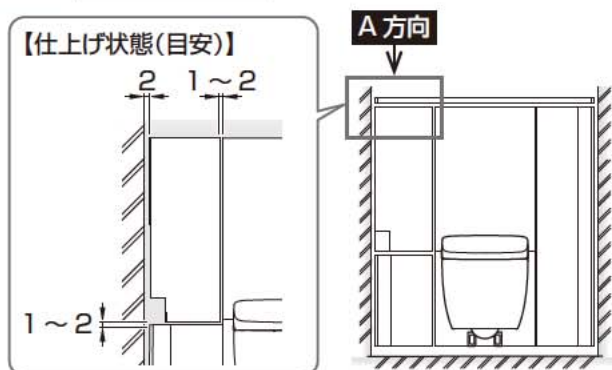
① 手前に引きながら 脱着レバー



③ 手洗器用排水ホース、 排水管組品を通す

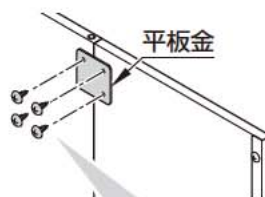


3 扉の取り付け



参照 P.126 扉の調整

まるごと収納タイプの場合

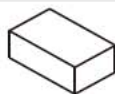


④ 手締めで

トラス
タッピンねじ
4×10(4本)

17. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板

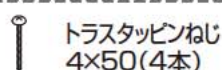
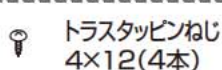
使用部材



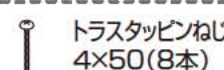
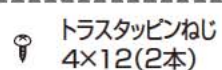
詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

付属材セット (手洗器)

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】



【ハイバックタイプ】



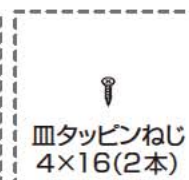
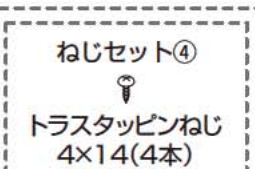
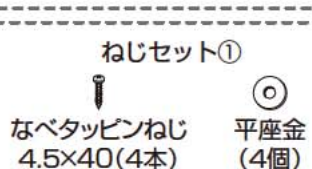
※4本は18.手洗器・
水栓金具で使用

紙巻器

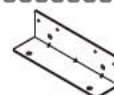
紙巻器固定材

【樹脂製】

※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。



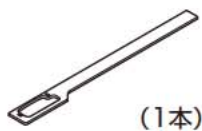
紙巻器固定材
(1個)



その他包装

カウンター

上段カウンター

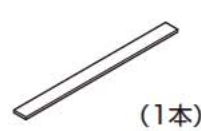


※図はベッセルタイプ(角形)

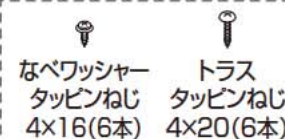
ブラケットセット



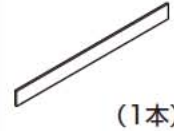
下段カウンター



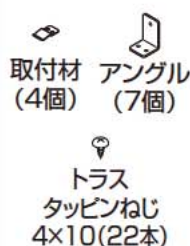
ブラケットセット



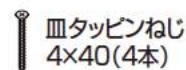
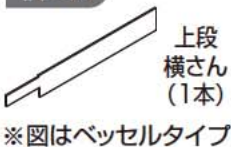
幕板



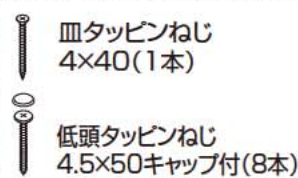
付属材セット



横さん



ねじセット

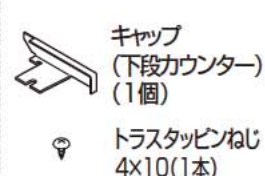


キャップセット

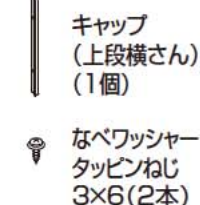
【上段カウンター】



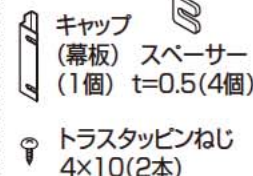
【下段カウンター】



【上段横さん】



【幕板】

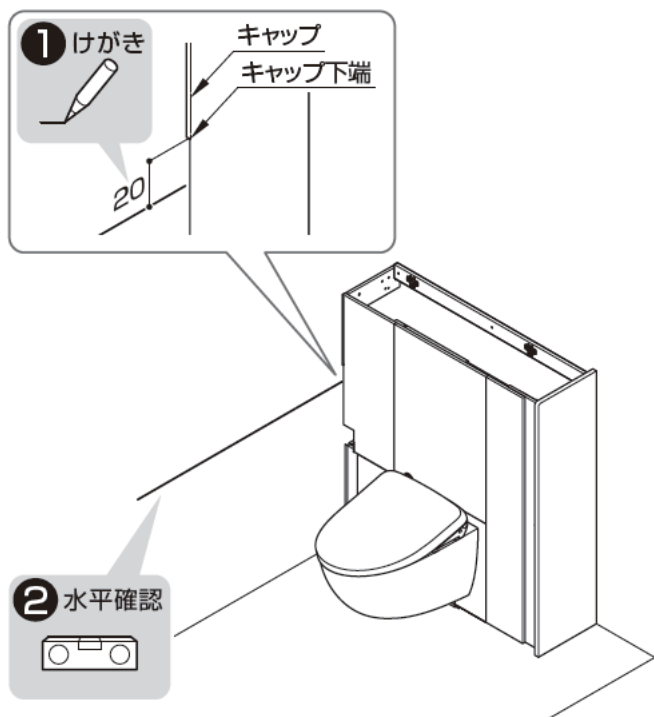


手洗器キャビネット



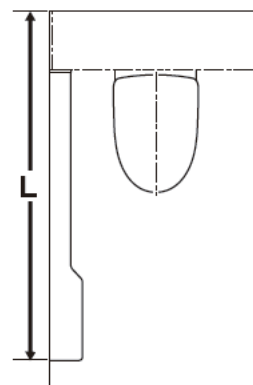
(1台)

1 上段横さんのけがき



2 上段横さんのカット

1 L寸法をレイアウト図より確認する



2 けがき

まるごと収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法A
	ベッセルタイプ (丸形/角形) 296	
	ハイバックタイプ 298	

スリム収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法A
	ベッセルタイプ (丸形/角形) 236	
	ハイバックタイプ 238	



3 カット



- ・意匠面(下穴があいている面)からカットすること
- ・上段横さんのカットは板に対して必ず垂直になるようにすること

割れ防止/すき間発生防止

4 意匠面にキャップ(上段横さん)の凸側を突き当てる

【上面図】



6 手締めで



なべワッシャー
タッピンねじ
3×6(2本)

5 下端をあわせる

MEMO

3 上段横さんの取り付け

壁裏補強ありの場合

1 貫通穴

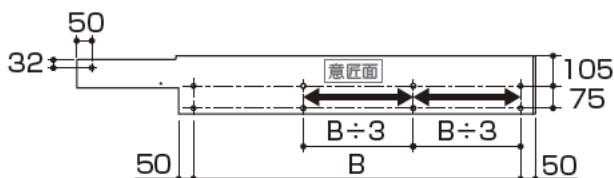


意匠面からあける

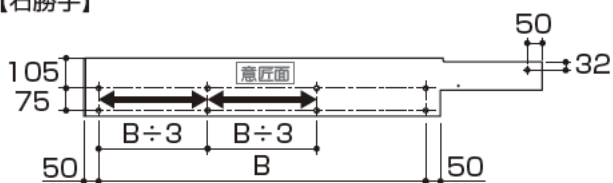
φ5 (9カ所)

施工不良防止

【左勝手】



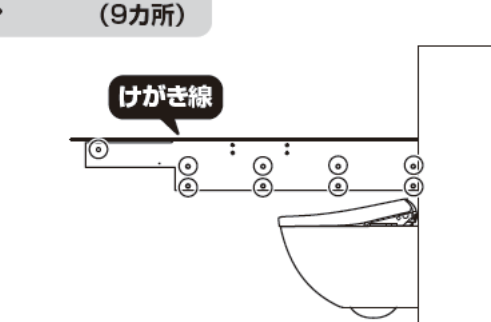
【右勝手】



2 けがき → 下穴



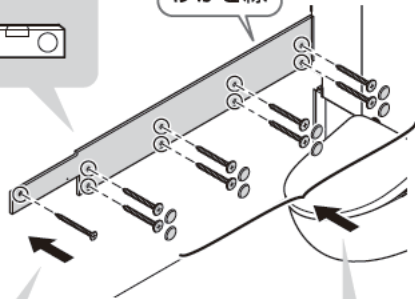
φ3 (9カ所)



3 水平確認



けがき線



5 皿タッピンねじ 4×40(1本)



4 低頭タッピンねじ 4.5×50キャップ付(8本)



低頭タッピンねじ 4.5×50キャップ付(8本)

壁裏補強なしの場合

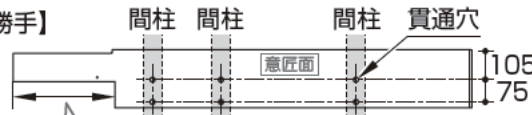
1-1 貫通穴



間柱にあわせて意匠面から貫通穴をあける
※右勝手の場合、左右反転した寸法となります。

施工不良防止

【左勝手】



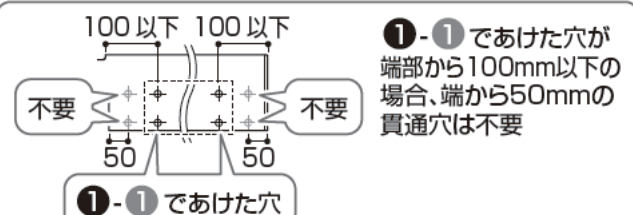
この箇所は間柱がある場合でも下穴はあけない

1-2 貫通穴



追加で意匠面から貫通穴をあける

施工不良防止



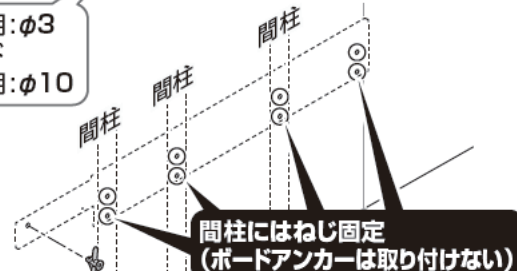
【左勝手】



2 けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)



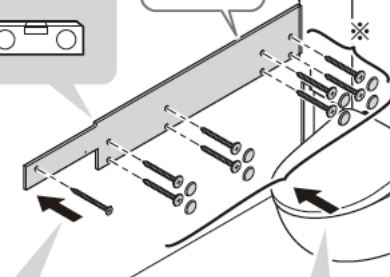
ねじ取付用: φ3
両端ボード
アンカー用: φ10



3 水平確認



けがき線



5 手締めで



皿タッピンねじ 4×40(1本)

4 低頭タッピンねじ 4.5×50キャップ付

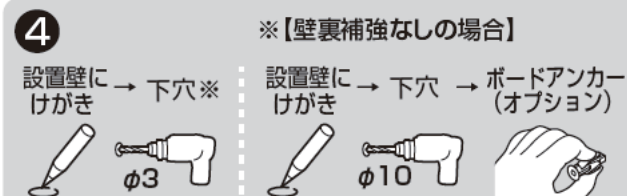
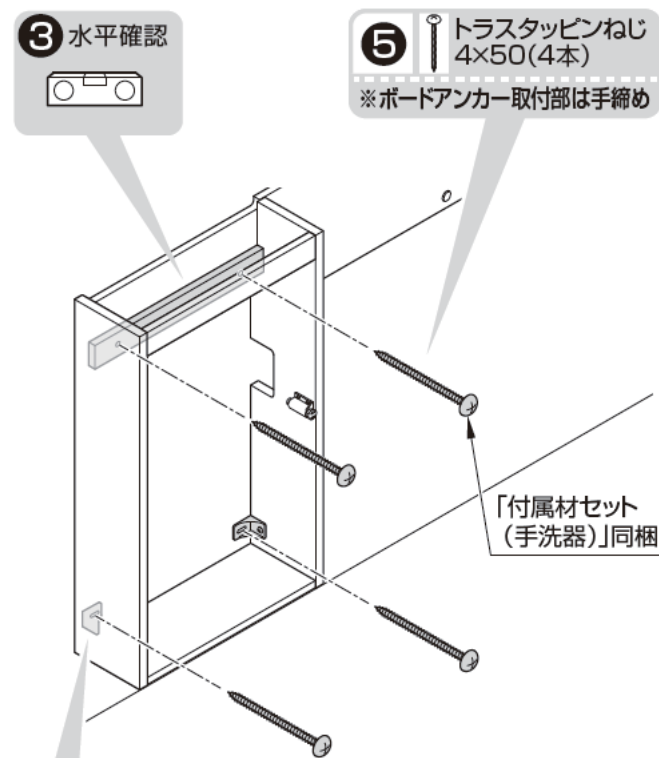
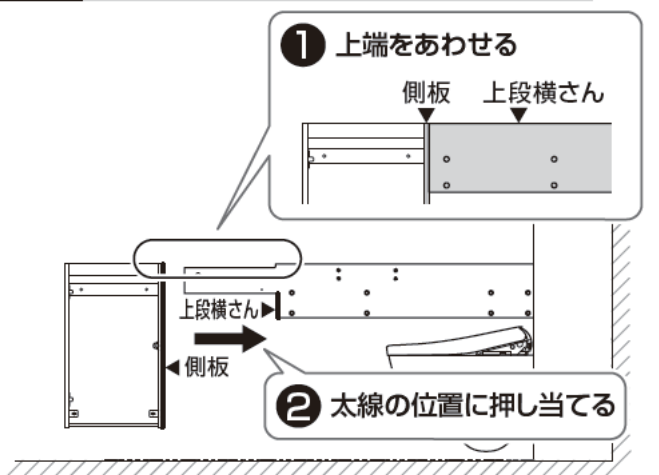
低頭タッピンねじ 4.5×50キャップ付

※カウンターの長さ、間柱数によって、使用するねじの数が異なります。
※ボードアンカー取付部は手締め

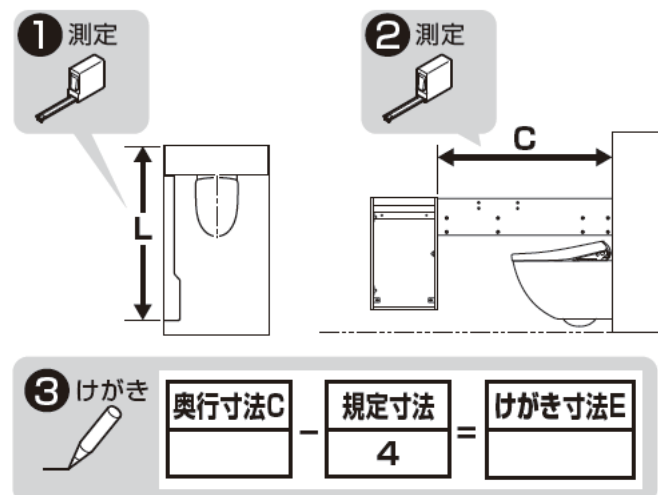
ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合	▶P.83
ハイバックタイプの場合	▶P.85

ベッセルタイプ(丸形/角形)

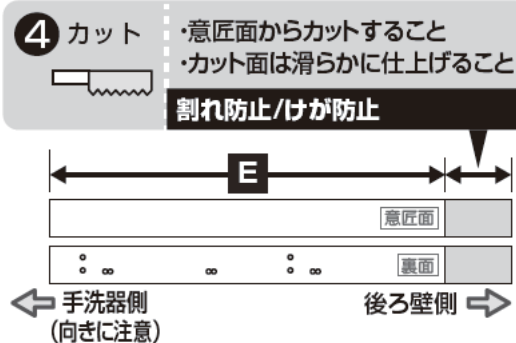
4 手洗器キャビネットの取り付け



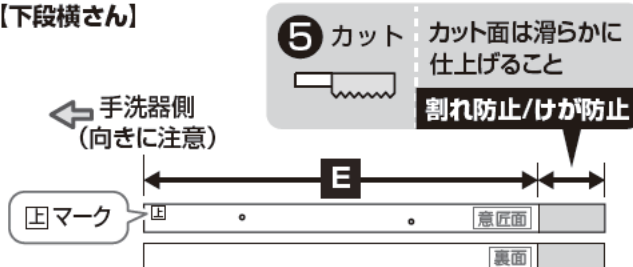
5 カウンター類のカット



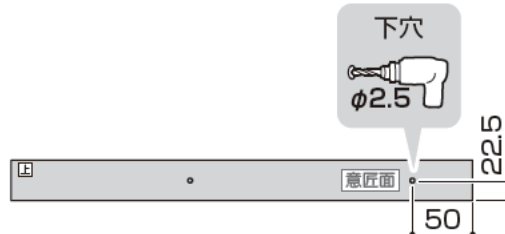
【下段カウンター】



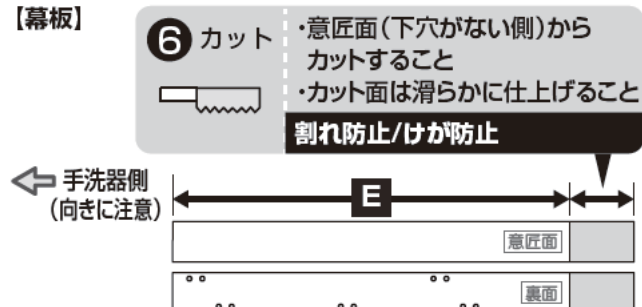
【下段横さん】



E寸法が~720mmの場合



【幕板】



7 けがき

まるごと収納タイプ

奥行寸法L	-	規定寸法	=	けがき寸法D
		274		

スリム収納タイプ

奥行寸法L	-	規定寸法	=	けがき寸法D
		214		

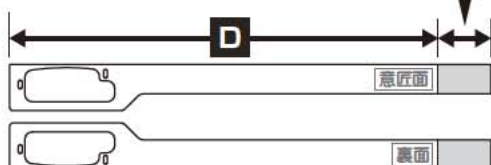
【上段カウンター】

8 カット



- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

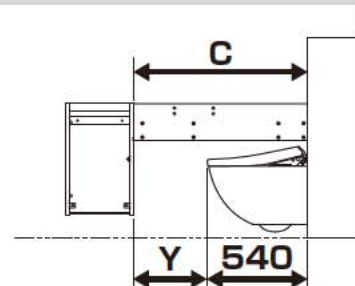


← 手洗器側
(向きに注意)

MEMO

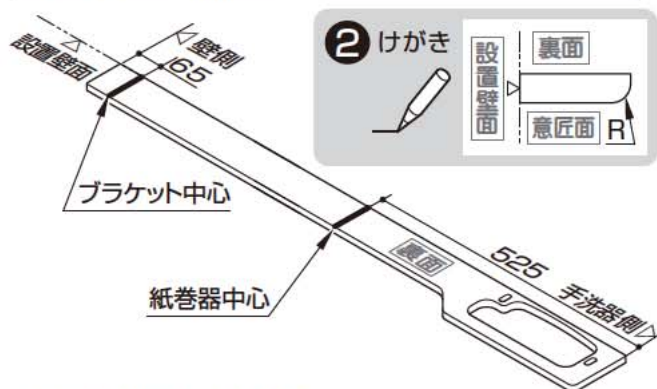
6 上段カウンター部材のけがき

1 測定

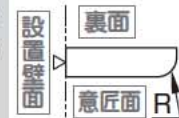


C寸法	-	規定寸法	=	Y寸法
		540		

Y寸法が～290mmの場合

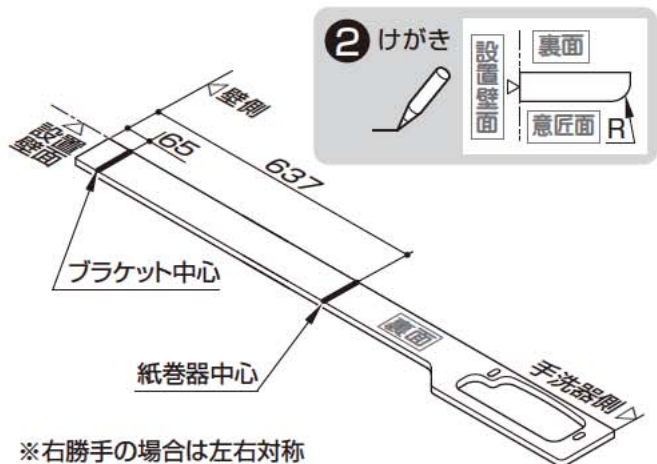


2 けがき



※右勝手の場合は左右対称

Y寸法が291mm～の場合



2 けがき

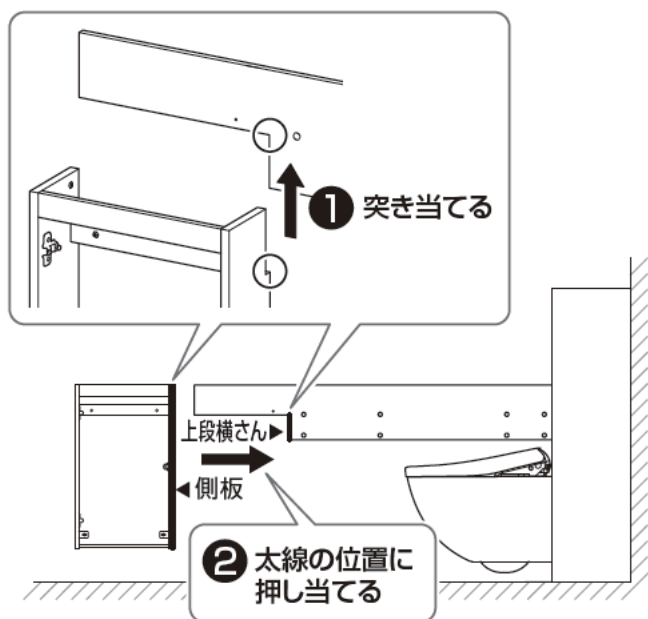


※右勝手の場合は左右対称

P.86 7 紙巻器・ブラケットの取り付けへ

ハイバックタイプ

4 手洗器キャビネットの取り付け



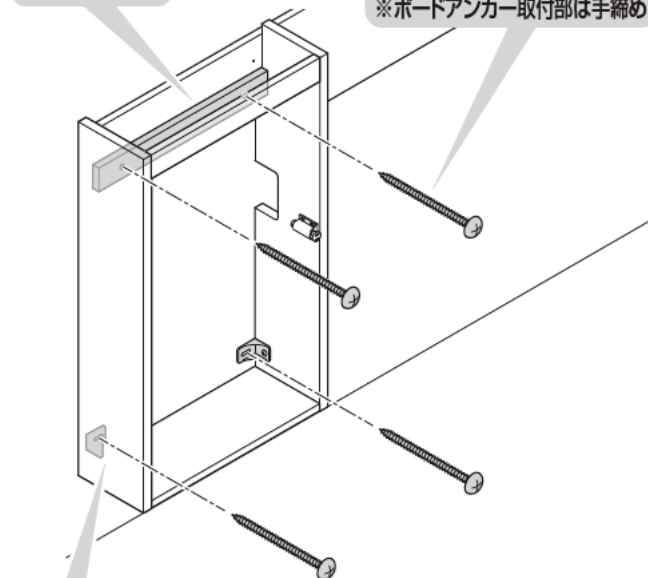
③ 水平確認



⑤

トラスタッピンねじ
4×50(4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め



4

設置壁に → 下穴※



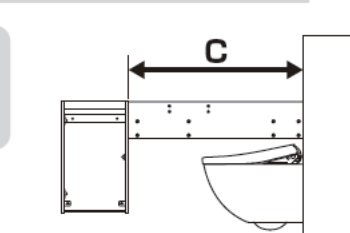
※【壁裏補強なしの場合】

設置壁に → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)



5 カウンター類のカット

① 測定



② けがき



奥行寸法C	規定寸法	けがき寸法E
	4	

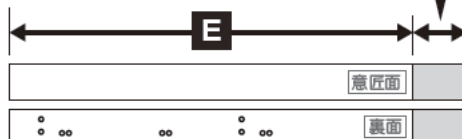
【下段カウンター】

③ カット



- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

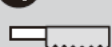


← 手洗器側
(向きに注意)

→ 後ろ壁側

【下段横さん】

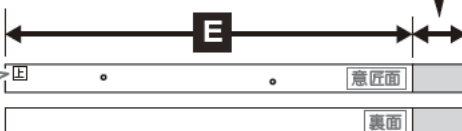
④ カット



- ・カット面は滑らかに仕上げること

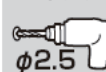
割れ防止/けが防止

← 手洗器側
(向きに注意)



E寸法が〜720mmの場合

下穴



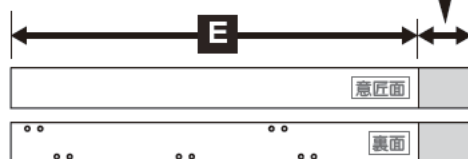
【幕板】

⑤ カット



- ・意匠面(下穴がない側)からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



← 手洗器側
(向きに注意)

【上段カウンター】

⑥ カット

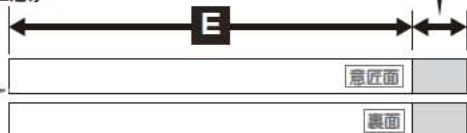


- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

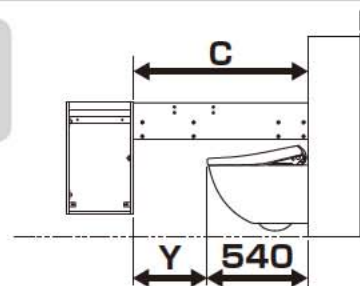
← 手洗器側
(向きに注意)

Rがついて
いる方が前



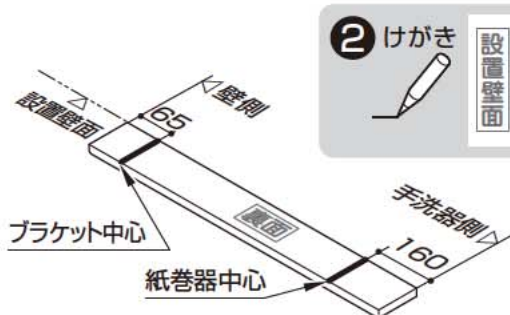
6 上段カウンター部材のけがき

① 測定



C寸法	-	規定寸法 540	=	Y寸法

Y寸法が～350mmの場合

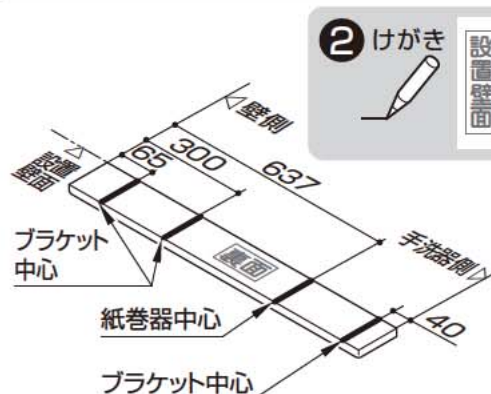


② けがき



※右勝手の場合は左右対称

Y寸法が351mm～の場合



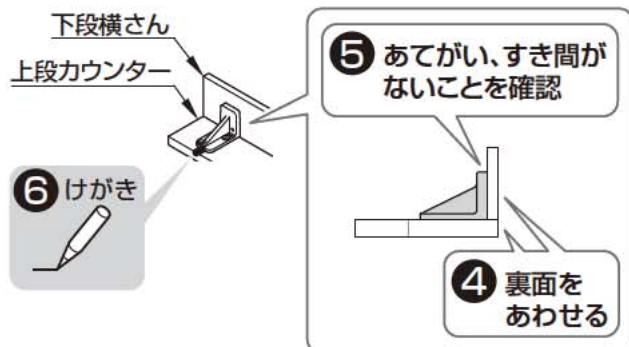
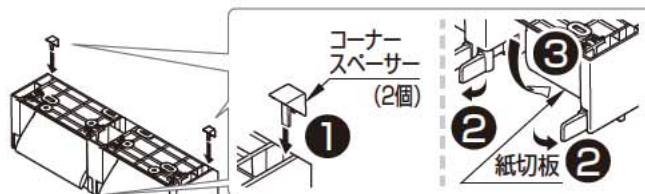
② けがき



※右勝手の場合は左右対称

7 紙巻器・ブラケットの取り付け

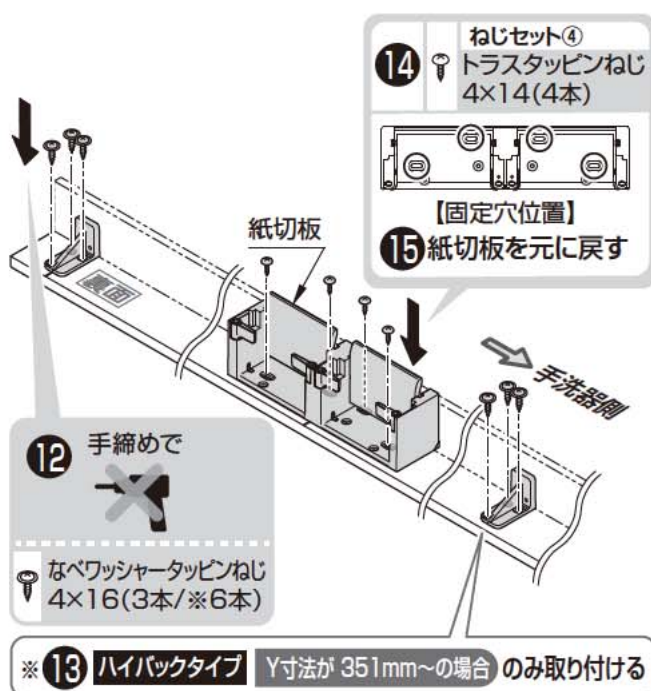
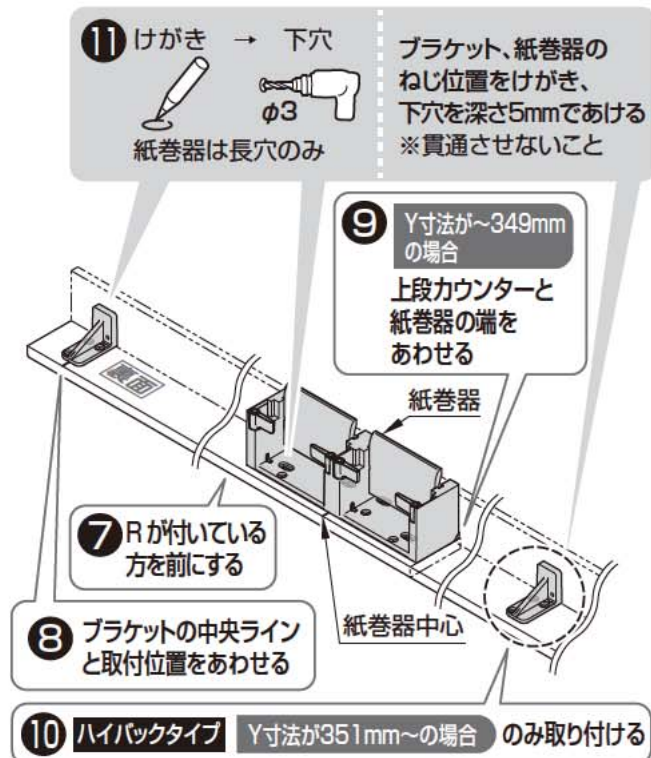
樹脂製紙巻器の場合



⑤ あてがい、すき間がないことを確認

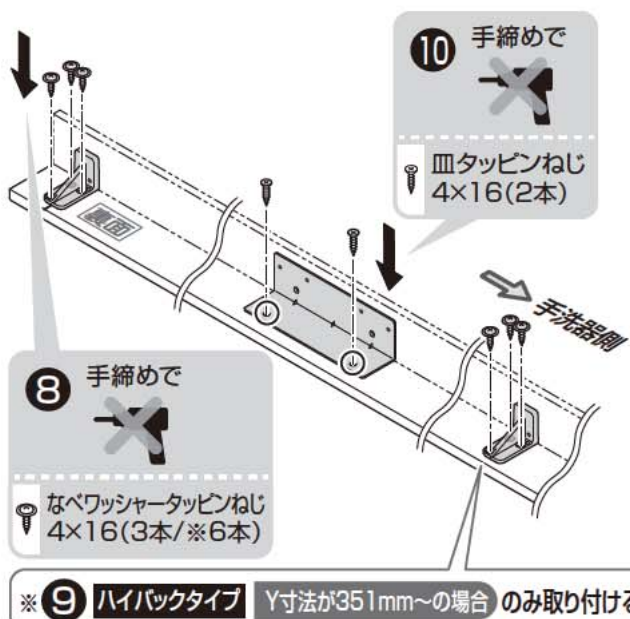
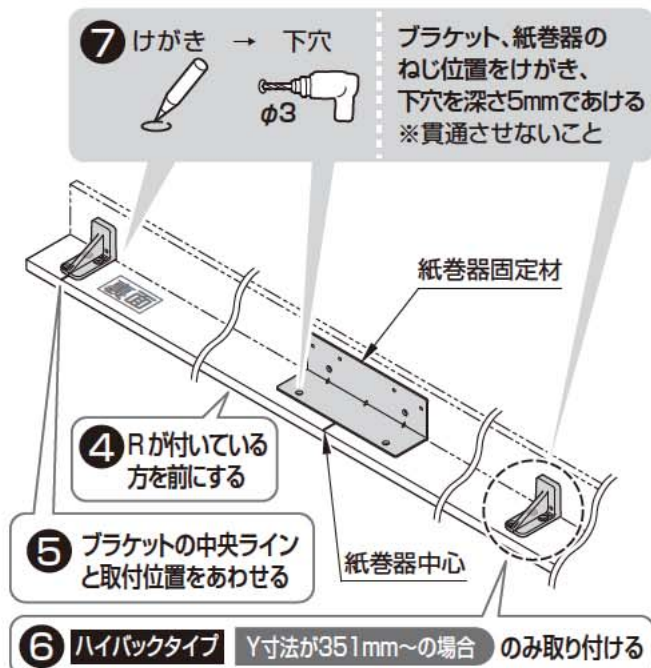
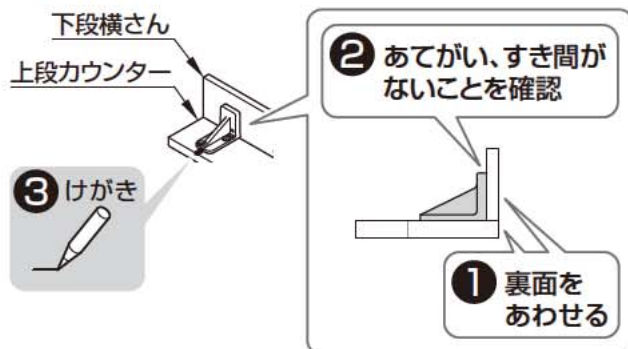
⑥ けがき

④ 裏面をあわせる



メタル製紙巻器の場合

※紙巻器の取り付けは、「22. 仕上げ」にて行います。
P.124 参照

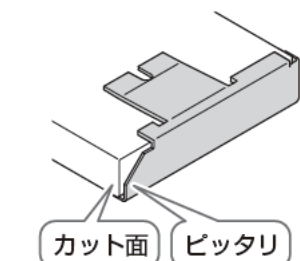


ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合	▶P.88
ハイバックタイプの場合	▶P.89

ベッセルタイプ(丸形/角形)

8 上段カウンターの取り付け

① 上部に切り欠きがないものを取り付ける



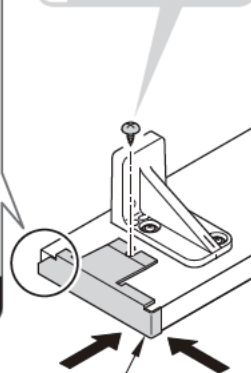
けが防止

② 手締めで



仮固定

トラスタッピンねじ 4×10(1本)

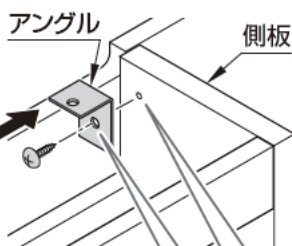


キャップ(上段カウンター)

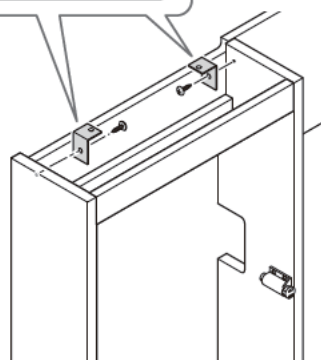
④ 手締めで



「付属材セット(手洗器)」同梱
トラスタッピンねじ 4×12(2本)

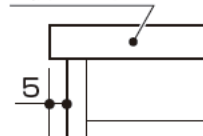


③ アングルの長辺の丸穴を側板の下穴にあわせる

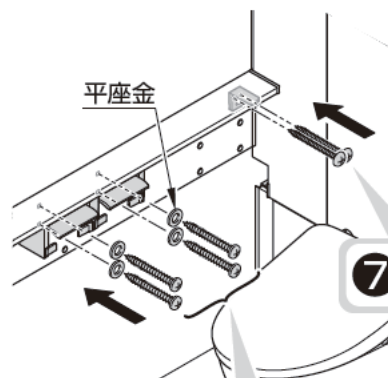
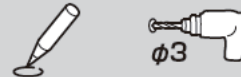


⑤ 上段横さんに乗せる

上段カウンター



⑥ ねじ穴のけがき → 下穴

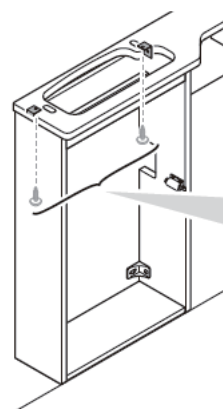


⑦ トラスタッピンねじ 4×30(2本)

【樹脂製紙巻器の場合】
「ねじセット①」同梱

⑧ なべタッピンねじ 4.5×40(4本)

【メタル製紙巻器の場合】
皿タッピンねじ 4×40(2本)



⑨ 手締めで



トラスタッピンねじ 4×12(2本)

「付属材セット(手洗器)」同梱

⑩ 固定扉に当てる

キャップ(上段カウンター)

⑪ 手締めで



本固定

P.90 ⑨ 下段カウンター部材の取り付けへ

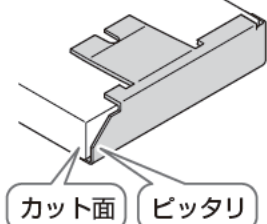
ハイバックタイプ

8 上段カウンターの取り付け

① 上部に切り欠きがないものを取り付ける

切り欠きなし

切り欠きあり



けが防止

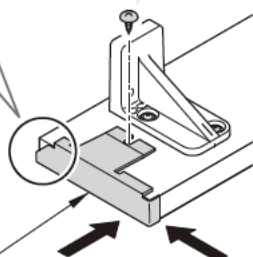
キャップ(上段カウンター)

② 手締めで



仮固定

トラスタッピンねじ 4×10(1本)

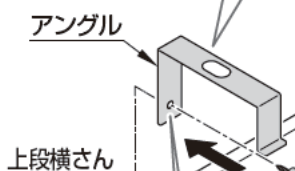
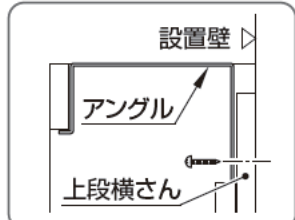


④ 手締めで

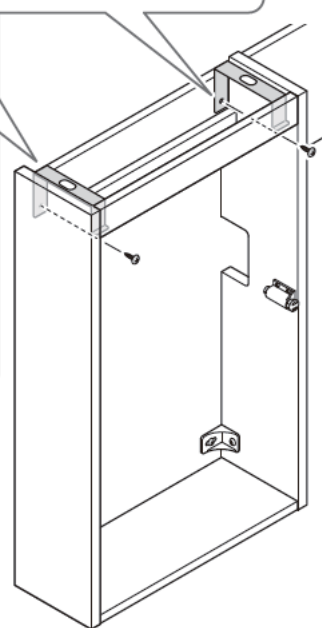


「付属材セット(手洗器)」同梱

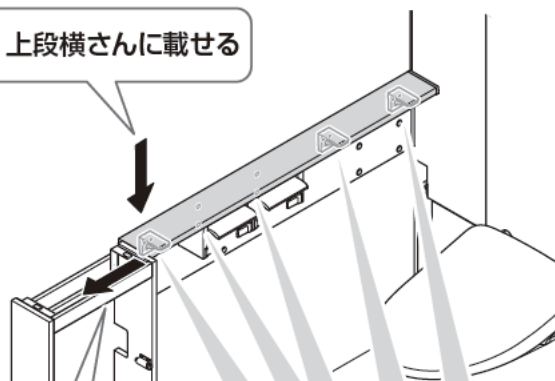
トラスタッピンねじ 4×12(2本)



③ アングルの長辺の丸穴を側板の下穴にあわせる



⑤ 上段横さんに載せる

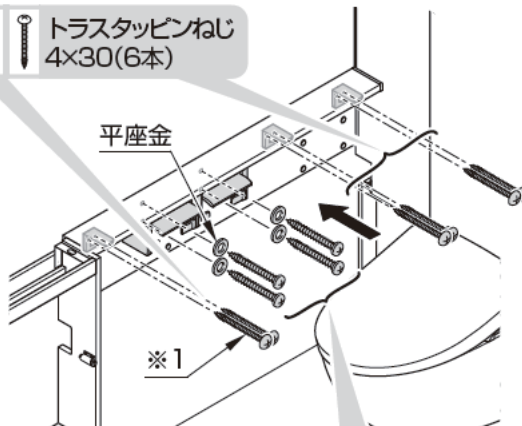


⑥ 手洗器キャビネットに押し当て

⑦ ねじ穴のけがき → 下穴



⑧ トラスタッピンねじ 4×30(6本)

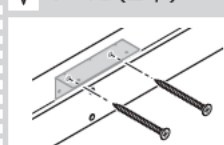


【樹脂製紙巻器の場合】「ねじセット①」同梱

【メタル製紙巻器の場合】

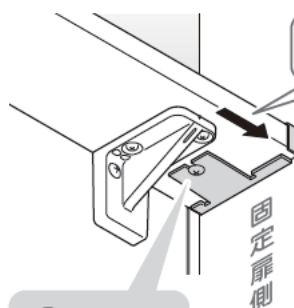
⑨ なべタッピンねじ 4.5×40(4本)

皿タッピンねじ 4×40(2本)



※1 Y寸法が~350mmの場合は手洗器側のブラケットなし

⑩ 固定扉に当てる



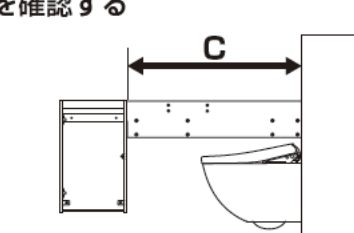
⑪ 手締めで



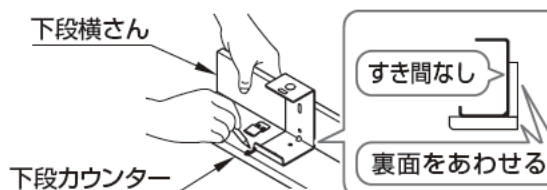
本固定

9 下段カウンター部材の取り付け

① C寸法を確認する



② ブラケットの裏面に下段横さんをあてがう



③ 手締めで



【ブラケット用】
なべワッシャータッピンねじ
4×16(4本)

下穴あり

④ 手締めで

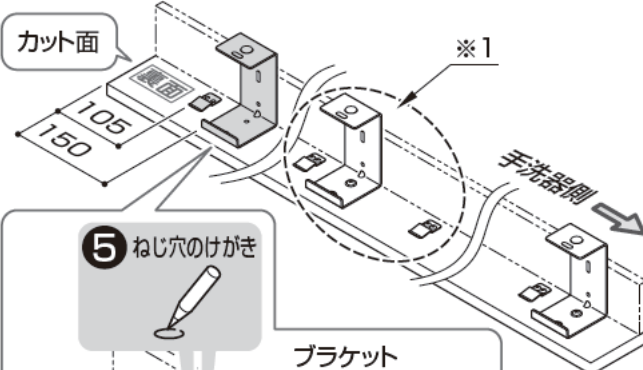


【取付材用】
トラスタッピンねじ
4×10(6本)

※1 C寸法が 765mm ~ の場合のみ

C寸法が~764mmまたは921mm~の場合

※1 C寸法が765mm~の場合のみ



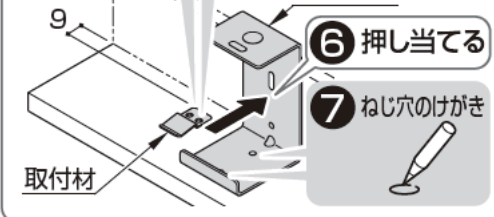
5 ねじ穴のけがき



6 押し当てる



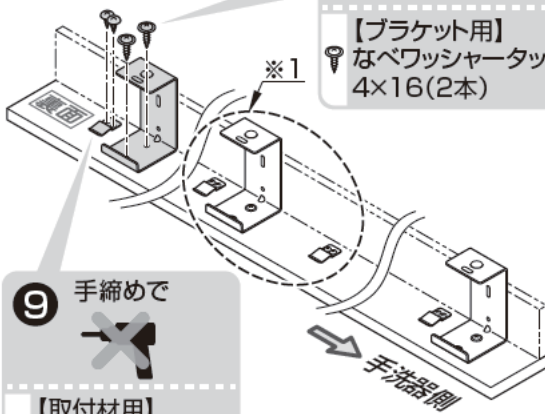
7 ねじ穴のけがき



8 手締めで



【ブラケット用】
なべワッシャータッピンねじ
4×16(2本)



9 手締めで



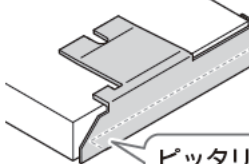
【取付材用】
トラスタッピンねじ
4×10(2本)

10 上部に切り欠きがあるものを取り付ける

切り欠きあり



切り欠きなし



ピッタリ

けが防止

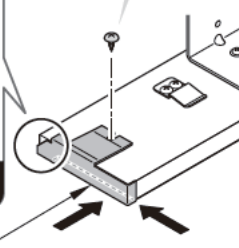
キャップ(下段カウンター)

11 手締めで



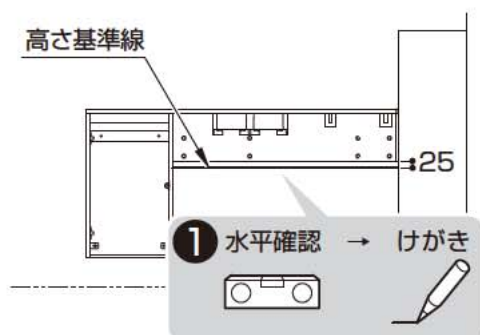
仮固定

トラスタッピンねじ
4×10(1本)



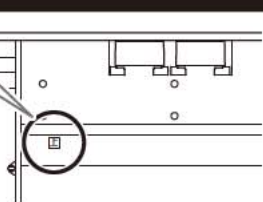
10 下段横さんの取り付け

※図はベッセルタイプ(丸形/角形)の場合

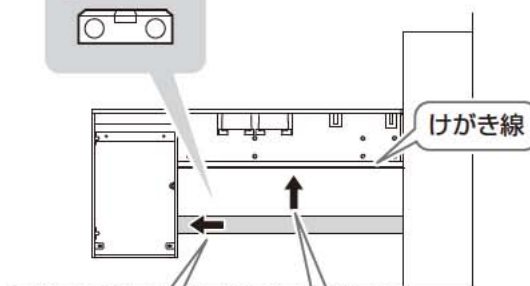


向きに注意すること

国 マークを手洗器側に



4 水平確認



3 キャビネット側板に当てる

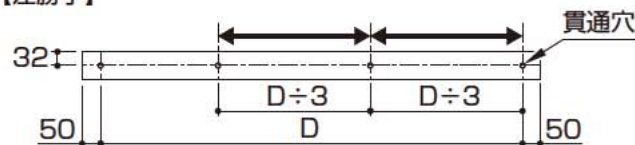
※ハイバックタイプの場合、キャビネット外側の側面と下段横さんの端面をあわせる

2 下段横さんの上端をけがき線にあわせる

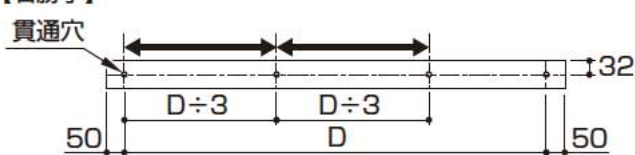
壁裏補強ありの場合

5 貫通穴 (壁にあけない) φ5 (4カ所)

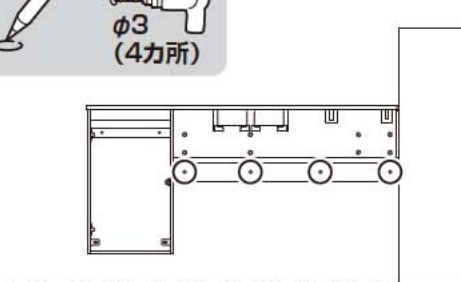
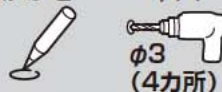
【左勝手】



【右勝手】



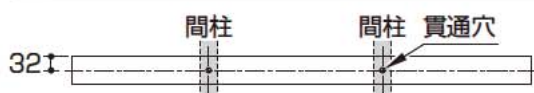
6 けがき → 下穴



壁裏補強なし

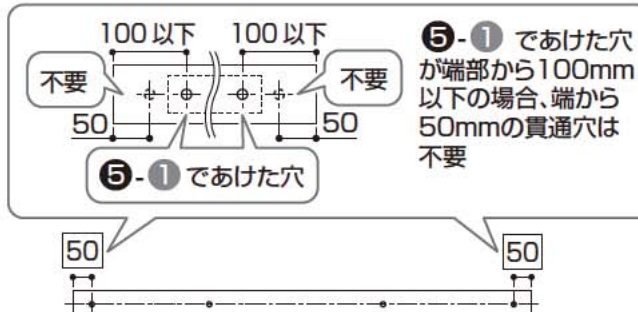
5-1

貫通穴 (壁にあげない) 間柱にあわせる



5-2

貫通穴 (壁にあげない) 追加で貫通穴をあける

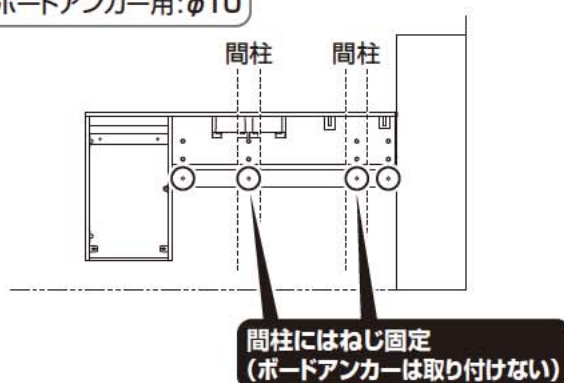


6

けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)

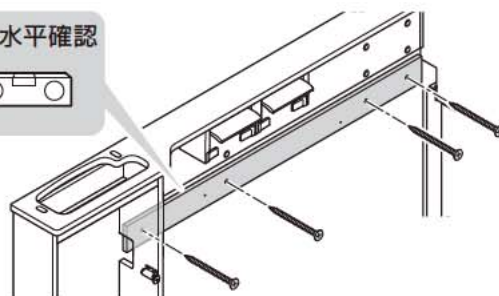


ねじ取付用: $\phi 3$
両端ボードアンカー用: $\phi 10$



壁裏補強あり/壁裏補強なし 共通

7 水平確認



8

皿タッピン
ねじ
4×40

※ボードアンカー取付部
は手締め

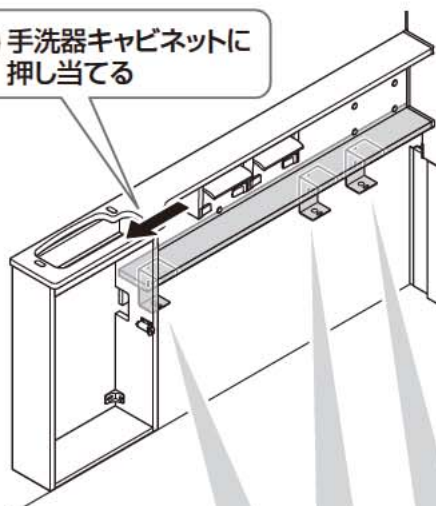
【壁裏補強ありの場合】
4本

【壁裏補強なしの場合】
カウンターの長さ、間柱数
により使用本数が異なる

11 下段カウンターの取り付け

※図はベッセルタイプ(丸形/角形)の場合

1 手洗器キャビネットに 押し当てる

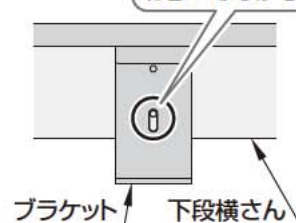


2 けがき → 下穴



下段横さんに載せて
下側の長穴にけがき、
下穴をあける

長穴の上側を
ねらってあける



ブラケット

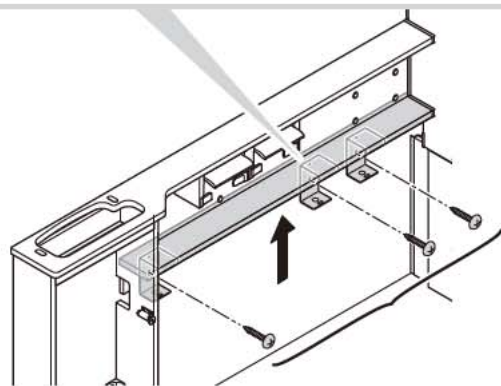
下段横さん

5 トラストッピンねじ
4×20(3本)

4 ブラケット
下側のねじ
を固定

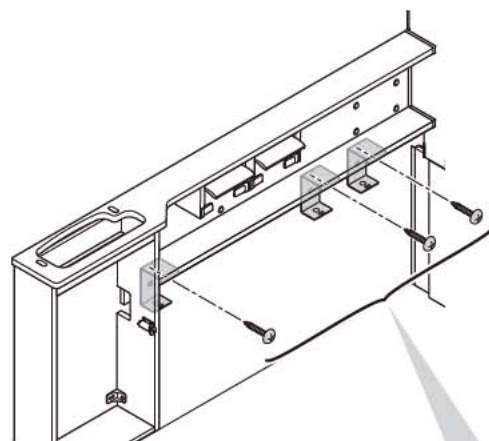
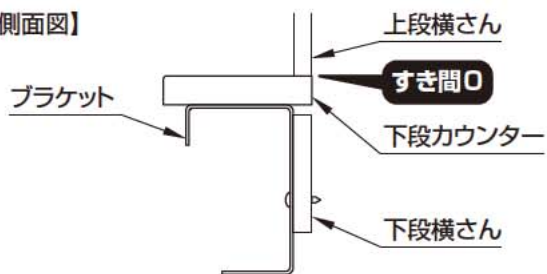
3 上段
横さんに
押し当てる

ブラケット



取付イメージ

【側面図】



6 けがき → 下穴

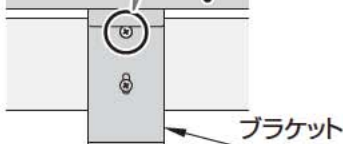


ブラケット上側の
ねじを固定

上段横さん

下段カウンター

7 トラストッピン
ねじ
4×20(3本)



ブラケット

必ず実施してください

上段横さんと下段カウンターにすき間がある場合は **3** に
戻って長穴で調整する

8 キャップ(下段カウンター)を
固定扉に当てる



9 手締めで

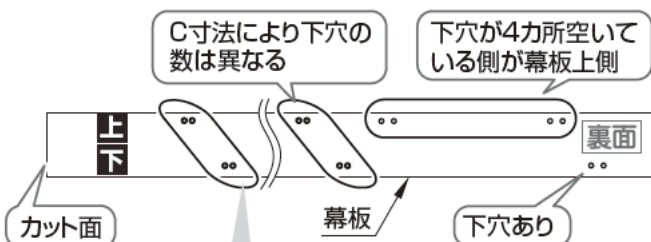
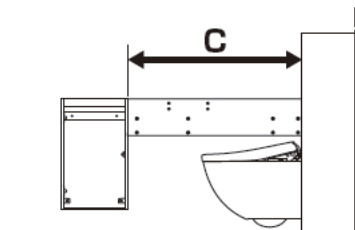


本固定

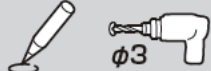
12 幕板部材の取り付け

① C寸法を確認する

※C寸法が765mm～959mmの場合は③へ
 ※右勝手の場合、左右反転した形状となります。

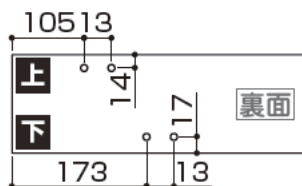


② けがき → 下穴



アングルの取付位置をけがき、
 下穴を深さ5mmであける

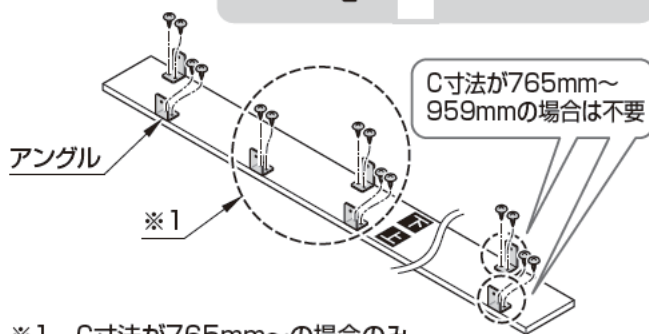
水漏れ防止



③ 手締めで

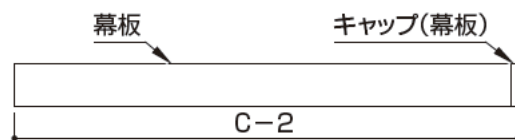
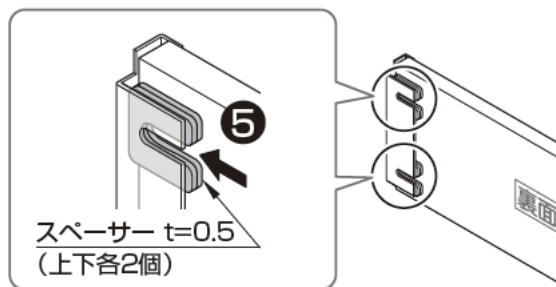
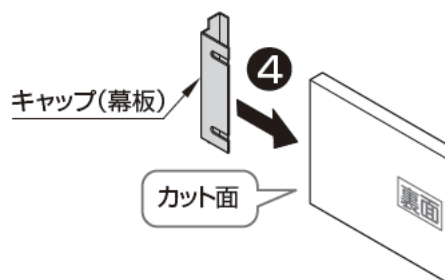
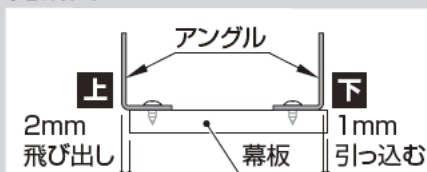


トラストッピンねじ
 4×10(14本)



※1 C寸法が765mm～の場合のみ

完成図



⑥ 測定

キャップの位置を調整する

⑦ 手締めで



トラストッピンねじ
 4×10(2本)

